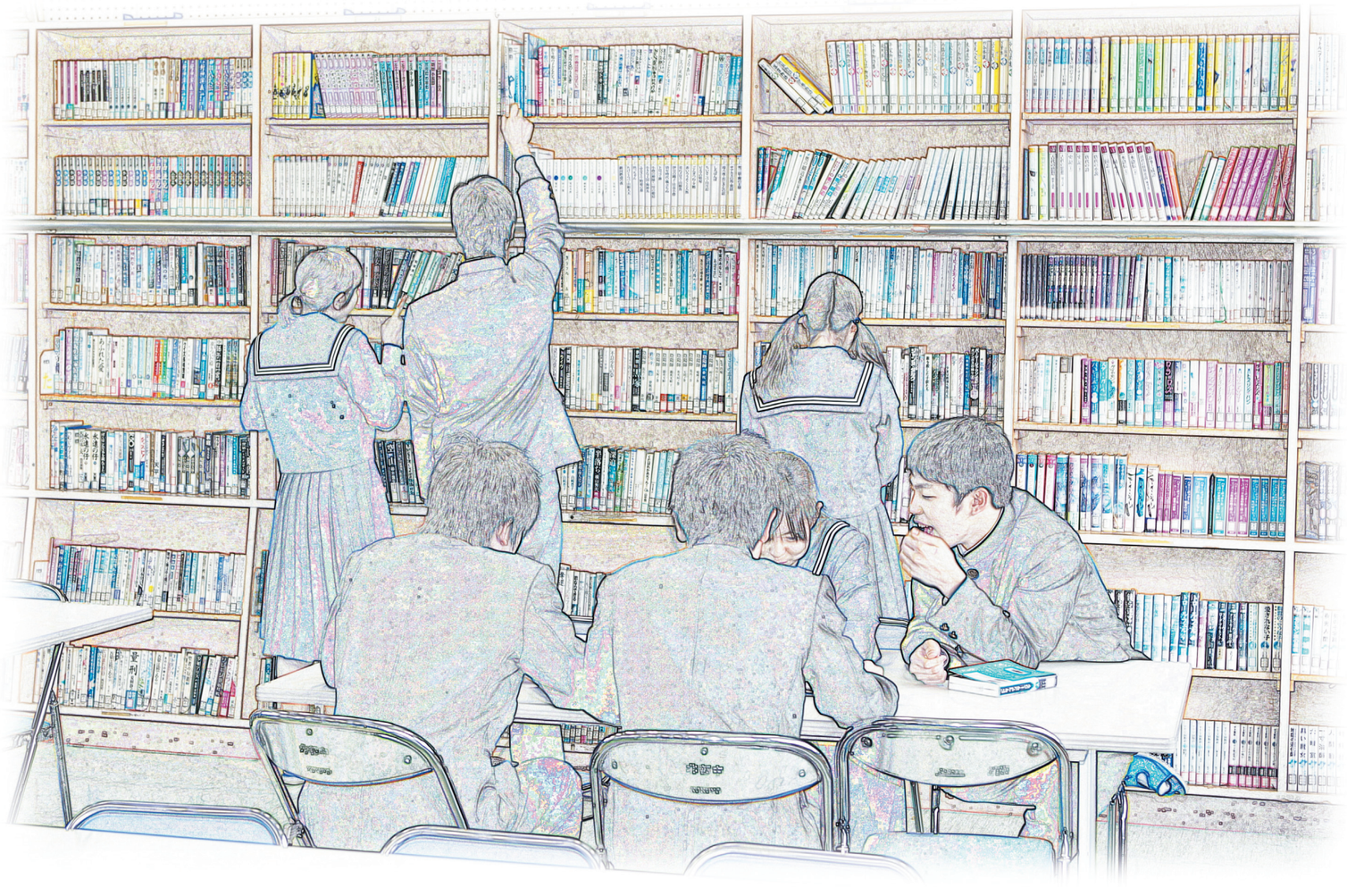
学校図書館研究紀要

2013(平成25)年度版・No.55

創立50周年記念号



愛知県学校図書館研究会

目　　次

巻頭言　愛知県学校図書館研究会創立50周年の節目を迎えて
愛知県学校図書館研究会会長　　柴　田　悦　己 …… 1

創立50周年記念関係
創立50周年記念祝辞 …… 2
学校図書館研究会貢献者・功労者一覧 …… 4
創立50周年記念式典 …… 5
創立40周年以降のあゆみ …… 6
読書感想文コンクールの10年（平成15年度～24年度） …… 11
読書感想画コンクールの10年（平成15年度～24年度） …… 13
読書ゆうびんコンテストの８年（平成15年～平成22年度） …… 15
研究会役員・理事一覧表 （平成15年度～24年度） …… 17

第36回東海地区学校図書館研究大会（豊橋大会）
大会主題・大会日程・大会役員 …… 21
大会実行委員会 …… 22
分科会別提案内容と協議内容 …… 24
記念講演要旨　「読解力を向上させる読書活動と学校図書館改造プロジェクト」
京都女子大学　教授　井上　一郎　氏 …… 37

実務講習会
三河部 …… 39
尾張部 …… 40
高校部 …… 41

第59回読書感想文愛知県コンクール
参加作品総数・入賞者数 …… 43
優秀入賞者一覧 …… 43
審査概評 …… 45

第25回読書感想画愛知県コンクール
参加作品総数・入賞者数 …… 47
審査概評 …… 47
入賞者一覧（中央コンクール送付分） …… 48

平成25年度愛知県学校図書館研究会事業・情勢報告 …… 49

平成25年度愛知県学校図書館研究会役員・理事・評議員一覧
役員・会務運営分担・事務局 …… 50
役員・理事・評議員一覧 …… 51

平成25年度愛知県学校図書館研究会予算 …… 54

愛知県学校図書館研究会会則・細則 …… 55

愛知県学校図書館研究会研究大会のあゆみ …… 58

編集後記 …… 60

愛知県学校図書館研究会創立50周年の節目を迎えて

愛知県学校図書館研究会会長　**柴　田　悦　己**

本研究会の創立50周年の節目に当たり，一言御挨拶を申し上げます。

本研究会は，昭和38年に本県の学校図書館活動の充実を期して発足し，これまで教育研究活動や研究発表大会の企画，運営，読書感想文・読書感想画コンクールや学校図書館実務講習会の運営などの地道な活動を積み重ね，教育実践の普及発展と子どもたちの読書活動の充実に努めてまいりました。研究会の企画を主たる任務とする研究部，研究紀要の編集を行う紀要部，読書感想文や読書感想画コンクールの実施主体となる読感部の３部会を活動の柱とするとともに，名古屋市を除く県内の小・中学校，公立私立を含めた高等学校及び特別支援学校が所属する，校種を超えた研究会として他にほとんど例を見ない大きな組織となっておりますのも，多くの先輩諸氏のこれまでの御尽力の賜と存じ，心から敬意を表するとともに厚く感謝申し上げます。

さて，学校図書館を取り巻く施策・環境は，最近十数年間に絞ってみても大きく変化しております。平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立し，子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画の策定の義務など，子どもの読書に関する国及び地方公共団体の責務等が明らかにされました。また，平成15年度からは12学級以上の学校への司書教諭の配置が義務づけられております。さらに，平成17年７月に公布・施行された「文字・活字文化振興法」は，学校図書館の振興を後押しする言語力の育成に配慮することを求めており，読み書きに留まらない，調べる力や伝える力を含む幅広い能力の育成が期待されております。最近では，本年５月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第３次）が閣議決定され，読書習慣の定着度を示す指標の一つである不読率について，５年後，10年後の数値目標が従来以上に明確に示されております。

パソコンや携帯電話，スマートフォンなどの電子機器の画面を見つめる時間が増加している昨今，書籍をはじめとした紙媒体の上に存在する活字の価値の相対的な低下が危惧されております。しかし，このような技術革新が進めば進むほど，書物との出会いが時代を超えた人との出会いや新鮮な響きをもったことばとの出会いを生み，それらを自らの生き方につなげていくことの重要性はむしろ増していると考えます。その重要性を子どもたちに伝えていくために，学校図書館はどうあるべきか，今後の可能性がどこにあるのかを考え，発信していくことがますます大きな課題となってきていると捉えております。

この紀要には，本年度の本会の活動状況に加えて，40周年以降の本会の活動の成果が示されております。この記念すべき節目に，これまで本や活字文化に対する愛着を抱き，情熱を持ってその魅力を子どもたちに伝え，学校図書館活動の充実と発展に寄与してこられた多くの先人の御労苦に思いを致し，本会の今後進む方向を見定めるためのよすがとなれば幸いに存じます。

創立50周年を祝して

愛知県教育委員会教育長　**野　村　道　朗**

愛知県学校図書館研究会が創立50周年を迎えられるにあたり，心からお祝いの言葉を申しあげます。

本研究会は，昭和38年に第１回の愛知県学校図書館研究大会を開催されて以来，半世紀にわたり本県の学校教育の充実，とりわけ学校図書館振興に関する各種の企画等を通じて学校図書館の健全な発展のために多大な貢献をしてこられました。これもひとえに，歴代の会長様をはじめ，会員の皆様のたゆまぬ研究活動や指導実践のたまものと存じ，深く敬意と謝意を表するしだいであります。

今年，国では「第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定されました。

この中で，小学校・中学校・高等学校等の各学校段階において，児童生徒が生涯にわたる読書習慣を身に付け，読書の幅を広げるため，読書の機会の拡充や図書の紹介，読書経験の共有により，さまざまな図書に触れる機会を確保することが示されました。

こうした国の動向を踏まえ，本県におきましても，県内における子どもの読書活動を総合的に推進するため，第三次の「愛知県子ども読書活動推進計画」の策定を進め，読書活動推進のために，有効な方策を検討しているところであります。

子どもたちが今まで以上に読書に親しむためには，自らが読書の楽しさを知り，読書の習慣を身に付けていくことが大切です。こうした点から，学校図書館は，子どもたちの自由な読書活動や読書指導の場として中核的な役割を担うことが期待されております。

愛知県学校図書館研究会が，創立50周年を節目として，学校図書館に関する研究や読書指導に関するさまざまな取組を一層推進され，引き続き本県の学校教育の充実のために御尽力くださいますようお願い申しあげます。

終わりに，愛知県学校図書館研究会の今後の御発展と，会員の皆様の御健勝を祈念して，お祝いの言葉といたします。

愛知県学校図書館研究会創立50周年に寄せて

愛知図書館協会会長　**森　　正　夫**

愛知県における学校図書館の健全な運営を通した学校教育の充実を目的として活動してこられた愛知県学校図書館研究会が，創立50周年を迎えられることとなった。10年前，2003年，愛知県学校図書館研究会は，愛知図書館協会から名実ともに独立されたが，その以前，1963年創設の段階からすでに高度の自主性・自立性をお持ちであり，改めて半世紀に及ぶ着実な歩みを想起する時，この間の並大抵でないご努力と成果に対し，心からお慶びを申し上げる次第である。と同時に，49年前，1964年発行の愛知図書館協会会報48号で，その前年の愛知県学校図書館研究会の団体としての一括加入決定に際し，当時の副会長が申し上げている「児童生徒，学生から成人としての社会人，職業人まで生活の中に図書館活動を取り入れ」る必要性それ自体は，約半世紀の時を経た今もなお変わっていないように思われる。

1963年は，最初の東京オリンピックの前年に当たり，日本社会が，敗戦後に直面してきた困難な状況を自力で克服する体制をようやく築いたところであった。2010年代前半の今，日本社会は，再びオリンピックを企画するとともに，少子高齢化などの国内の重要課題や地球環境自体の存立維持などの人類的課題に大きな責任を担うに至っている。こうした歴史的現実は，学校図書館を含むわが国の各種図書館が日常的に直面している状況とも決して無縁ではないであろう。

目下，公益社団法人化を間近に控えてはいる日本図書館協会は，日本の図書館活動の共通課題を中枢的に担うことを志してはいるが，同図書館協会評議員を務めて来た自分の現場感覚としては，日本の図書館は，小・中・高の初等中等教育に対応した学校図書館，大学図書館，地方自治体の運営する公共図書館がそれぞれの経営課題に即して実質的にはバラバラに活動しており，いわゆる中央レベルの図書館協会活動はどちらかと言えば，公共図書館に重点を置いて展開されているように見える。私は，バラバラ性は，日本の図書館の実状が率直に反映されており，その意味で積極的意義をもつと考えている。ただ，上記の歴史的現実に鑑みれば，館種ごとの実情を越えた自由な語らいも，時としてまた必要なのではないだろうか。愛知県図書館協会は，今なお，50年前の副会長の願ったように，館種を越えた語らいや連繋の場としての空気を保持している。愛知県学校図書館研究会との変わらぬ交流もその一環であり，これからもぜひこのきずなを大切にしていきたい。

新たなステージで，さらなる躍進を

公益社団法人 全国学校図書館協議会理事長　**森　田　盛　行**

愛知県学校図書館研究会の創立50周年，まことにおめでとうございます。

現在，学校図書館は「学校教育の中核」と位置付けられ，読書指導のみならず，学習指導，情報活用指導等に大きな役割を果たす存在に発展してきました。学校図書館を子どもたちが最も利用しやすい位置に設置したり，学校全体で学校図書館を活用する学習活動に取り組んだりする実践により，学校にはなくてはならないものとなりました。これも，各地において貴会のように地道に学校図書館の研究及び実践を積み重ねてこられた結果の賜物と思います。

1968年には，第16回全国学校図書館研究大会名古屋大会が名古屋市で開催され，2600名もの参加者が集い，研究成果を発表しあい，交流を深めていました。分科会には「社会科学習と学校図書館」，「理科学習と学校図書館」，「学校経営と学校図書館」のように現在でも課題となっている主題が設定され，本大会の先進性をうかがわせる充実した大会でした。この大会の成果が全国各地に広まり，学校図書館の水準を高め，優秀な実践を輩出するきっかけとなりました。

貴県の学校図書館の水準の高さは，貴会の組織力，卓越した企画力，会員の熱心さ，実践に裏付けられた研究活動，行政等の支援，新聞社をはじめとする地域の協力等の総合力により実現しているものと思います。

司書教諭の配置に引き続き，学校司書の法制化が実現しようとしています。学校図書館に対する期待がますます強くなる一方です。名古屋大会要項の表紙には，男の子と女の子が仲良く本を読んでいる姿があります。今後も学校図書館の原点ともいえる「楽しい読書」を多くの子どもたちが味わい，学校図書館を活用する学習活動により，大きく成長する手助けとなることを願ってやみません。

愛知県学校図書館研究会が創立50周年という節目を契機に，これまでの諸先輩が50年間で積み重ねてこられた研究の成果を土台に，ますますご発展されますよう心から願っております。

愛知県学校図書館研究会・創立50周年記念祝辞

中日新聞社社長　**小　出　宣　昭**

なぜ「読書」が大切なのでしょうか。

四十数年の記者人生から，ニュースの99％は過去の出来事の繰り返しだと実感しています。登場人物や場所，数字が違うだけで，その本質は同じ。ですから歴史への深い理解が，ニュースの勘所を見抜く洞察力をはぐくむのです。

伝記や小説，詩なども同様です。人が何に喜び，悲しみ，怒り，笑うのかという根っこは何百年，何千年前から変わっていません。だからこそ『史記』や『源氏物語』，『カラマーゾフの兄弟』などが今なお輝きを放ち，読み継がれているわけです。読書を通じ，さまざまな人や人生に出会い，その喜怒哀楽に触れ，先人の思考の軌跡をたどることで，人間や世の中に対する深い洞察力が磨かれるのだと思います。そうして子どもは一人前の大人になるのです。ネット検索で得られる薄っぺらな知識とは比べものになりません。

そんな本との出会いの場である図書館は，新聞ととても似ています。自分の興味のなかったことを見つけ，驚くチャンスにあふれている，ということです。写真や見出しにひかれて偶然読んだ新聞記事に，心を大きく揺さぶられる経験をされた方もいるでしょう。多種多様な情報が一覧できる新聞ならでは，です。たくさんの本が一堂に集められた図書館も同じです。お目当ての本を探す途中で，たまたま手に取った一冊が人生を変える。そんな幸せな巡り会いも起こりうるのです。

タイトルに心を引かれたり，表紙のデザインが気に入ったり，きっかけはたくさんあるでしょう。興味のある事柄だけを効率よく追求するネットでは，あり得ない"寄り道"です。この寄り道こそが，人生を豊かにするのです。子どもにも大人にも通じる真理だと思います。

このネット時代に子どもたちをいかにして読書へいざない，図書館に足を運んでもらうか。研究会の皆さまのいっそうのご活躍を期待いたします。

学校図書館研究会貢献者

福岡武宏（豊田市立猿投台中）
須賀陽子（犬山市立城東小）
内藤真澄（稲沢市立領内小）
荻原哲哉（瀬戸北総合高）
稲垣孝俊（豊川市立小坂井西小）
鈴木俊司（昭和高）
小林達也（西尾市立西尾中）
安田剛章（稲沢市立千代田中）
石原伸祐（瀬戸北総合高）
和田昌子（豊川市立長沢小）
阿部重紀（豊田南高）
山本章司（蒲郡市立南部中）
宮田光義（刈谷市立東刈谷小）
森美穂（一宮市立西成東小）
坪井富士男（豊田市立東保見小）
鈴木洋子（大口町立大口西小）
原口由夫（春日井南高）
大橋忠男（刈谷市立双葉小）
加藤真紀（一宮市立浅井南小）

学校図書館研究会功労者

大島純子（一宮市立葉栗北小）
伊藤幸代（津島市立神守小）
石村智美（津島市立天王中）
大島奈保美（犬山市立犬山北小）
木村芳博（小牧市立小牧原小）
芳賀稔（尾張旭市立西中）
長谷川千代子（日進市立日進西中）
伊藤親良（春日井市立北城小）
杉浦恵子（東浦町立藤江小）
堀田義賢（稲沢市立稲沢北小）
齋藤律（稲沢市立高御堂小）
渥美久美子（岡崎市立広幡小）
青山文子（安城市立明和小）
長葭教明（豊田市立末野原中）
河辺紗代子（豊川市立金屋小）
石原恵美子（新城市立鳳来中）
河合知美（豊橋市立向山小）
竹下耕志（新城東高）
笹山悦子（明和高）
安藤嘉成（瀬戸西高）
村上知香子（時習館高）
及川由紀恵（知多翔洋高）
林田嘉乃（刈谷東高）
高田綾（瀬戸北総合高）
石川美絵子（みあい養護）
尾関利子（一宮市立北方小）
平野洋子（津島市立神守小）
石原惠理（あま市立篠田小）
渡辺まゆみ（岩倉市立岩倉東小）
土屋艶子（一宮市立小信中島小）
古江知栄子（豊明市立豊明中）
髙橋静江（瀬戸市立下品野小）
山本英夫（半田市立亀崎小）
谷川真理子（東浦町立西部中）
馬場隆敏（稲沢市立千代田小）
杉喜久代（安城市立中部小）
鈴木純子（岡崎市立連尺小）
三岡英隆（豊田市立稲武中）
白井淳子（田原市立衣笠小）
安藤孝枝（豊川市立桜木小）
佐原浩子（豊橋市立汐田小）
阿部まゆみ（豊橋授業学習支援センター）
吉田正義（新城東高）
山口武人（新城東高）
髙橋承一（岩倉総合高）
川井美智子（岡崎商業高）
畔柳裕子（岡崎北高）
水野さつき（大府東高）
大竹真千英（一宮東養護）
天野由貴（椙山女学園高）

創立50周年記念式典

平成25年10月25日
愛知県図書館　於　14：00～

開式の辞　　研究会副会長　竹下　耕志　氏（愛知県立新城東高等学校長）

会長挨拶

研究会会長　柴田　悦己　氏
（愛知県立岡崎東高等学校長）

来賓挨拶

愛知県教育委員会高等学校教育課指導主事
山脇　正成　氏

学校図書館研究会貢献者・功労者表彰

貢献者代表
（福岡　武宏　氏）

記念講演　　「図書館と書店，出版業界の抱える問題」
講師　坂井　宏先　氏（ポプラ社社長）

開式の辞　　研究会副会長　稲垣　孝俊　氏　（豊川市立小坂井西小学校長）

40周年以降のあゆみ

16年度

5．28　　定期総会　愛知県立春日井西高等学校長　阿部　重紀氏会長に就任

8．4～8．6　　第34回全国学校図書館研究大会（びわこ・くさつ大会）に参加
会　場　立命館大学びわこ・くさつキャンパス
テーマ　「ひろがる，つながる，学びを変える学校図書館」

10．27　　第41回愛知県学校図書館研究大会を開催

会　場　ウィルあいち
テーマ　「考える力を育む学校図書館」
全体会　記念講演　「旅と絵本」
絵本作家　スズキ　コージ氏
分科会　4部会　13分科会
特　色　記念講演では，スズキコージ氏によって絵本のアイディアを生み出す源となった幼少期から青年期にかけての自らのエピソードが語られた。

17年度

5．31　　定期総会　犬山市立城東小学校長　須賀　陽子氏会長に就任

8．4～5　　第32回東海地区学校図書館研究大会（沼津大会）に参加
会　場　グランシック中ホール
テーマ　「意欲・ときめき・こころざし
ー子どもの未来をひらく学校図書館ー」

11．2　　第42回愛知県学校図書館研究大会を開催

会　場　ウィルあいち
テーマ　「ひらく，つながる，学びを支える学校図書館」
全体会　記念講演　「ことばでつなぐ」
落語家　桂　福団治師匠　福楽師匠
分科会　4部会　9分科会
特　色　第1～3部会は各部会を小学校・中学校の部と高等学校の部の2分科会編成とし，第4部会には「読書へのアニマシオン」「ブックトーク」「読み聞かせ」の3つのワークショップを編成し，特色ある学校図書館の取り組みの実践が紹介された。

※　読書感想文コンクールにおいて，本の類別が1．2．3類から課題図書・自由図書の2分類に変更となった。

「文字・活字文化振興法」の制定

文字・活字文化の恵沢をすべての国民が生涯にわたり平等に享受できる環境を整備すること，国語が日本文化の基盤であることに配慮すること，学校教育で言語力を高めていくことを基本理念とし，読書週間初日の10月27日を「文字・活字文化の日」として制定された。

18年度

5．26　定期総会　蒲郡市立蒲郡南部小学校長　山本　章司氏会長に就任

8．9～8．11　第35回全国学校図書館研究大会（郡山大会）に参加

会　場　郡山女子大学

テーマ　「未来を拓き，豊かな学びの中核となる学校図書館」

10．27　第43回愛知県学校図書館研究大会を開催

会　場　蒲郡市民会館

テーマ　「人間性の基をつくる学校図書館の新たな出発」

全体会　記念講演

「子どもを不幸にするのも幸せにするのも大人である」

作家　宗田　理　氏

分科会　4部会　6分科会

特　色　第1～3部会では小学校・中学校・高等学校から1つずつ発表を行い，学校間での情報交換や連携を行えるよう各部会1分科会編制で行われた。

19年度

5．29　定期総会　愛知県立豊田南高等学校長　阿部　重紀氏会長に就任

8．4～8．6　第33回東海地区学校図書館研究大会（名古屋大会）に参加に参加

会　場　愛知厚生年金会館

テーマ　「豊かに生きる子どもを育む学校図書館の創造」

11．7　第44回愛知県学校図書館研究大会を開催

会　場　稲沢市民会館

テーマ　「未来を拓く創造力・想像力を培う学校図書館」

全体会　記念講演　「いのちの感受性　2007」

作家　落合　恵子氏

分科会　5部会　7分科会

特　色　特別支援部会を加え，5部会編成で分科会が行われ，管理運営・利用指導・読書指導を中心に公立図書館・ボランティアとの連携・協働の重要性や難しさについて話し合われた。

「新学校図書館図書整備5か年計画」の開始

「子供の読書活動の推進に関する法律」や「文字・活字文化振興法」の中で，読書活動推進のために学校図書館の充実が求められたことを受け，「新学校図書館図書整備か年計画」が策定された。平成19年度から23年度の5年間で，学校図書館図書基準の達成を目指し，初めて「更新冊数分」の図書整備費が盛り込まれた。

20年度

5．27　定期総会　稲沢市立領内小学校長　内蔵　真澄氏会長に就任

8．6～8．8　第36回全国学校図書館研究大会（熊本大会）に参加

会　場　熊本県立劇場・熊本学園大学

テーマ　「学びの力を培い，豊かな未来を創る学校図書館」

11．4　第45回愛知県学校図書館研究大会を開催

会　場　稲沢市民会館

テーマ　「子どもの可能性を拓く学校図書館の創造」

全体会　記念講演　「私の小説作法」

作家　清水　義範氏

分科会　4部会　6分科会

特　色　一宮市立豊島図書館長を講師に招き，公立図書館と学校図書館とのシステム上での連携の重要性とともに人と人とのつながりの必要性が確認された。

21年度

5．26　定期総会　刈谷市立東刈谷小学校長　宮田　光義氏会長に就任

8．4～8．5　第34回東海地区学校図書館研究大会（伊勢大会）に参加

会　場　伊勢市観光文化会館・皇學館大学伊勢キャンパス

テーマ　「本とのであい，人とのであい

～夢・希望・豊かな心をはぐくむ学校図書館の創造～」

8　愛知県SLAのホームページ開設

11．7　第46回愛知県学校図書館研究大会を開催

会　場　刈谷市民会館

テーマ　「感性を高め学びの世界を広げる学校図書館」

全体会　記念講演　「自作を語る」

絵本・童話作家　きむら　ゆういち氏

分科会　4部会　6分科会

特　色　記念講演では，絵本・童話作家のきむらゆういち氏に自身の作品をスクリーンやBGMを交えて読み聞かせをしていただき，作品の誕生秘話なども語られた。

22年度

5．25　定期総会　愛知県立瀬戸北高等学校長　荻原　哲哉氏会長に就任

8．4～8．6　第36回全国学校図書館研究大会（静岡大会）に参加

会　場　静岡県コンベンションアーツセンター

テーマ　「知識をつなげる　学びをひろげる　心をはぐくむ　学校図書館」

10．27　第47回愛知県学校図書館研究大会を開催

会　場　ウィルあいち

テーマ　「考える・感じる・表す力を育む本との出会い」

全体会　記念講演　「現代社会と科学　～子どもたちへ伝えたいこと～」

ノーベル物理学賞受賞　物理学者　益川　敏英氏

分科会　5部会　7分科会

特　色　特別支援の部会では，聾学校における読書週間の取り組みが発表され，読書感想画の作品とバリアフリー絵本の展示が行われた。

2．19　読書ゆうびんコンテスト終了

23年度

5．24　定期総会　一宮市立西成東小学校長　森　美穂氏会長に就任

8．4～8．5　第35回東海地区学校図書館研究大会（大垣大会）に参加

会　場　岐阜経済大学・星和中学校・牧小学校

テーマ　「学びの力と豊かな心

～学校教育の中核としての学校図書館をめざして～」

10．28　第48回愛知県学校図書館研究大会を開催

会　場　一宮市尾西市民会館

テーマ　「学びをひろげる　豊かな心をはぐくむ　学校図書館」

全体会　記念講演

「少年少女たちと本

～10代の読書を考える～」

作家　あさの　あつこ氏

分科会　4部会　6分科会

特　色　「バッテリー」を始め，小中学生の読者を多く持つあさのあつこ氏を講師に招き，対談形式で記念講演が行われた。

24年度

5．18　定期総会　豊橋市立小坂井西小学校長　稲垣　考俊氏会長に就任

8．8～8．10　第38回全国学校図書館研究大会（米子大会）に参加

会　場　米子コンベンションセンター　米子市文化ホール

テーマ　「学びを広げる　ひとをはぐくむ　学校図書館」

10．26　第49回愛知県学校図書館研究大会を開催

会　場　豊川文化会館・豊川市勤労会館

テーマ　「学びをひらき　豊かな心をつちかう　学校図書館」

全体会　記念講演

「ニャーゴのやさしさ・ティラノのおもいやり」

絵本作家　宮西　達也氏

分科会　4部会　8分科会

特　色　部会を小学校・中学校・高等学校の3部会とワークショップの特設部会の4部会編成とし，小学校・中学校の部会は読書と学習・情報の2分科会に分けて発表が行われた。

新聞配備と学校司書の配置への動き

文部科学省が「平成24年度からの学校図書館関係の地方財政措置」を発表した。新聞を活用した学習を行う環境を整備するために学校図書館に新聞一紙を配備することと学校図書館担当職員を配置することが取り上げられている。

25年度

5．21　定期総会　愛知県立岡崎東高等学校長　柴田　悦己氏会長に就任

8．7～8．8　第36回東海地区学校図書館研究大会（豊橋大会）

第50回愛知県学校図書館研究大会を開催

会　場　穂の国とよはし芸術劇場（プラット）・愛知大学

テーマ　「人をつなぐ・夢をはぐくむ・ことばをつむぐ」

～子どもの学びをささえる学校図書館～

全体会　記念講演

「読解力を向上させる読書活動と学校図書館改造プロジェクト」

京都女子大学教授　井上　一郎氏

分科会　4部会　25分科会

特　色　新学習指導要領に掲げられている情報収集・選択・活用能力を育成し，学び方を学ぶ「学習・情報センター」としての機能など，学校図書館に寄せられる大きな期待に応えていくために，いろいろな方面から研究・実践の報告が行われた。

10．25　愛知県学校図書館研究会創立50周年記念式典を挙行

記念講演　「図書館と書店，出版業界の抱える問題

ーそして編集者としての自分ー」

株式会社ポプラ社社長　坂井　宏先氏

読書感想文コンクールの10年（平成15年度～平成24年度）

年度 / 校種別・数	平成15年度（第49回）		平成16年度（第50回）		平成17年度（第51回）		平成18年度（第52回）		平成19年度（第53回）	
	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数
小学校	724	196,103	726	199,863	723	198,741	722	204,957	720	206,466
中学校	306	99,496	307	103,039	306	103,667	308	100,813	275	100,174
高等学校	131	59,994	153	55,438	125	60,891	119	54,557	117	53,712
特別支援学校	18	429	16	404	19	444	19	357	17	344
合計	1,179	356,022	1,202	358,774	1,173	363,743	1,168	360,684	1,129	360,696
愛知県コンクール優秀賞愛知県知事賞受賞者	○東浦町立片葩小 2年　黒木　泉 ○岡崎市立北野小 4年　藤岡　実里 ○東郷町立高嶺小 6年　岡田　祐樹		○豊田市立広川台小 6年　渡邊小百合 ○知多市立新田小 3年　金森　久志 ○碧南市立日進小 6年　中島　翔平		○岡崎市立大門小 1年　戸谷　早織 ○半田市立宮池小 4年　磯貝　充輝 ○春日井市立味美小 6年　前山　百音		○阿久比町立南部小 1年　小森　葉月 ○豊橋市立大清水小 6年　河合　悠 ○岡崎市立山中小 4年　野口　拓海		○高浜市立吉浜小 1年　都築　沙予 ○弥冨市立桜小 5年　大﨑　礼 ○稲沢市立清水小 3年　伊藤　優里	
	○小牧市立光ヶ丘中 3年　牧野　花純 ○安城市立安城南中 2年　坂田　梨恵 ○安城市立安城南中 2年　大島はる菜		○豊田市立保見中 2年　加藤　夏美 ○瀬戸市立幡山中 3年　河野　桃 ○春日井市立東部中 3年　長谷川奈苗		○岡崎市立竜海中 3年　植田　美咲 ○豊橋市立中部中 3年　川合　秀典 ○一宮市立南部中 3年　後藤　歩		○東郷町立東郷中 3年　石本　結香 ○春日井市立藤山台中 1年　有村　優 ○岡崎市立竜海中 3年　三浦布由佳		○半田市立半田中 1年　小島　萌寧 ○岡崎市立竜海中 3年　村上　まみ	
	○成章高 2年　伊藤むつみ ○桜花学園高 1年　小川真起子 ○明和高 1年　吉田　雄史		○金城学院高 3年　古村　聖 ○長久手高 3年　山田かおり ○明和高 1年　鬼頭　奈々		○時習館高 2年　白井　裕子 ○金城学院高 3年　水野　綾子 ○明和高 1年　藤田健太郎		○豊田西高 2年　服部　仁美 ○岡崎商業高 3年　山田　有香 ○明和高 1年　佐藤　栞		○愛知淑徳高 1年　高山知恵子 ○半田高 3年　筒井由香理 ○岡崎西高校 1年　矢野　彩佳	
	○豊橋聾　小 2年　山本　隼督 ○豊橋養護　中 1年　森　貴広 ○名古屋養護　高 1年　後藤　隆徳		○大府養護　小 5年　福田　恵 ○豊橋養護　中 2年　森　貴広 ○名古屋養護　高 3年　中原　康介		○岡崎聾　小 6年　米山　佑樹 ○岡崎養護　中 2年　中村　友香 ○名古屋養護　高 3年　小林　靖英		○豊橋聾　小 2年　近藤　史一 ○岡崎聾　中 3年　仲田　早織 ○豊田養護　高 2年　川村誠一郎		○豊橋聾　小 2年　伊藤　悠 ○一宮聾　中 3年　早瀬　友秀 ○ひいらぎ養護　高 2年　杉浦明日美	
全国コンクール入賞者	**文部科学大臣奨励賞** ○岡崎市立矢作東小 2年　徳原　誉人 ○　一宮市立大和中 1年　山本　直人 **毎日新聞社賞** ○成章高 2年　伊藤むつみ **サントリー奨励賞** ○半田市立さくら小 2年　福田有里奈		**毎日新聞社賞** ○設楽町立津具小 2年　村松　拓真 **全国学校図書館協議会長賞** ○豊田市立堤小 4年　牛山　絢子 ○日進市立香久山小 6年　北村　美樹		**内閣総理大臣賞** ○岡崎市立竜海中 3年　植田　美咲 ○金城学院高 3年　水野　綾子 **サントリー奨励賞** ○半田市立宮池小 4年　磯貝　充輝 ○春日井市立篠木小 4年　伊藤　華子 ○春日井市立味美小 6年　前山　百音		**毎日新聞社賞** ○豊根村立富山小 1年　鈴木将太朗 ○日進市立香久山小 6年　森　圭史 ○春日井市立藤山台中 1年　有村　優 **全国学校図書館協議会長賞** ○瀬戸市立水南小 4年　松田　朱里		**全国学校図書館協議会長賞** ○稲沢市立清水小 3年　伊藤　優里	

（小・中学校は名古屋市を除く）

年度／校種別・数	平成20年度（第54回）		平成21年度（第55回）		平成22年度（第56回）		平成23年度（第57回）		平成24年度（第58回）	
	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数
小学校	730	241,637	724	215,318	720	214,771	718	218,635	715	215,586
中学校	308	101,178	305	103,436	307	107,276	304	105,450	307	103,739
高等学校	117	52,957	110	49,417	104	49,500	104	46,676	102	46,624
特別支援学校	15	356	14	387	15	443	14	355	13	339
合計	1,170	396,128	1,153	368,558	1,146	371,990	1,140	371,116	1,137	366,288

愛知県コンクール優秀賞愛知県知事賞受賞者	○豊橋市立下地小 6年　榊原　光 ○春日井市立坂下小 3年　谷川　隼哉 ○知立市立知立西小 2年　三浦　俊輔	○春日井市立高座小 2年　藤本　真綾 ○設楽町立田口小 5年　岡本　広平 ○岡崎市立緑丘小 3年　木河　紘平	○常滑市立常滑西小 6年　大岩ちひろ ○豊田市立挙母小 3年　松浦　暉留 ○一宮市立宮西小 2年　伴　翔太郎	○幸田町立荻谷小 1年　荒木　海翔 ○東海市立三ツ池小 3年　中村　咲野 ○岡崎市立根石小 6年　水野菜々子	○清須市立清洲東小 4年　三輪　将大 ○小牧市立本庄小 6年　石川明日香 ○豊田市立市木小 3年　清水　元貴
	○豊明市立豊明中 1年　田中　桃夢 ○豊田市立益富中 1年　松井　弘道 ○知多市立東部中 3年　坪井優之介	○一宮市立丹陽中 3年　中村　眞子 ○北名古屋市立訓原中 3年　渡邉ほのか ○岡崎市立葵中 2年　木村　圭佑	○岡崎市立竜南中 1年　京藤満衣子 ○知多市立知多中 3年　勝崎裕香子 ○刈谷市立刈谷南中 3年　西尾　和樹	○岡崎市立竜海中 2年　三浦　舞香 ○北名古屋市立訓原中 3年　吉田　梨乃 ○弥冨市立十四山中 3年　河村　孝康	○一宮市立尾西第一中 3年　八部　陽菜 ○蒲郡市立中部中 3年　吉倉　成美 ○岡崎市立葵中 3年　八巻　美穂
	○豊丘高 2年　宮崎恵理子 ○光ヶ丘女子高 2年　小田　秋音 ○金城学院高 1年　小林　円加	○金城学院高 2年　小林　円加 ○岡崎西高校 1年　山根　範久 ○金城学院高 2年　鳥山　みわ	○時習館高 2年　白井　孝典 ○金城学院高 3年　小林　円加 ○滝高 1年　平田　早保	○名古屋西高 1年　堀池　咲希 ○国府高 2年　久嶋　瑞穂 ○金城学院高 1年　石井　美欧	○一宮興道高 2年　鈴木友佳子 ○津島高 2年　佐藤千玖紗 ○春日井南高 2年　無関　芹奈
	○千種聾　小 6年　旗屋陽菜乃 ○岡崎聾　中 1年　高須　幸歩 ○岡崎聾　高 2年　千葉　杏紗	○岡崎聾　小 2年　草次　祐衣 ○名古屋盲　中 2年　櫻井　未来 ○名古屋養護　高 3年　ﾛﾍﾟｽ･ｻﾕﾘ･ﾏﾙｼｱ	○岡崎養護　小 6年　川口　真愛 ○名古屋盲　中 2年　櫻井　未来 ○名古屋養護　高 2年　本荘有梨沙	○岡崎養護　小 4年　井上　陽菜 ○名古屋聾　中 1年　成田　愛望 ○名古屋養護　高 1年　下藤　美弘	○岡崎聾　小 5年　草次　祐衣 ○名古屋聾　中 2年　北澤　和巳 ○名古屋養護　高 1年　ｴﾝﾘｹｽ　ﾏﾙﾋﾞﾝ
全国コンクール入賞者	**全国学校図書館協議会長賞** ○ 光ヶ丘女子高 2年　小田　秋音 **サントリー奨励賞** ○知立市立知立西小 2年　三浦　俊輔	**内閣総理大臣賞** ○金城学院高 2年　鳥山　みわ **毎日新聞社賞** ○知立市立知立南小 2年　小笠原陽菜 **サントリー奨励賞** ○北名古屋市立訓原中 3年　渡邉ほのか	**毎日新聞社賞** ○金城学院高 3年　小林　円加 **全国学校図書館協議会長賞** ○豊田市立寿恵野小 5年　長坂　諒 **サントリー奨励賞** ○刈谷市立日高小 3年　田村空之介	**サントリー奨励賞** ○瀬戸市立東明小 4年　加藤　幹也	**全国学校図書館協議会長賞** ○一宮市立尾西第一中 3年　八部　陽菜 **サントリー奨励賞** ○豊根村立豊根小 1年　下平　麻琴

読書感想画コンクールの10年（平成15年度～平成24年度）

年度 / 校種別・数	平成15年度（第15回）		平成16年度（第16回）		平成17年度（第17回）		平成18年度（第18回）		平成19年度（第19回）	
	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数
小学校	431	86,911	673	111,938	467	114,135	497	130,499	648	130,419
中学校	89	2,515	129	2,869	99	1,909	98	6,415	94	3,119
高等学校 特別支援学校	25	231	28	216	33	223	26	1,294	30	1,046
合計	543	89,657	830	115,023	599	116,267	621	138,208	772	134,584
愛知県コンクール優秀賞	○一宮市立瀬部小 2年　西原　世奈 ○知立市立知立小 2年　吉田　流慧 ○岡崎市立大門小 5年　鈴木　優太 ○一宮市立中島小 4年　平松　孝哉		○岡崎六ツ美西部小 3年　中根　仁 ○稲沢市立清水小 3年　三輪　香織 ○尾西市立浅井東小 5年　諏訪　愛実 ○岡崎市立藤川小 6年　太田さおり		○美浜町立河和小 1年　寺澤　祐樹 ○岡崎六ツ美北部小 2年　萩原　緑 ○豊田市立古瀬間小 5年　田中　董 ○瀬戸市立長根小 6年　栗木　香		○岡崎市立美合小 3年　原田野乃花 ○弥富市立弥生小 1年　竹城　茜音 ○美浜町立河和小 5年　榊原　大貴 ○岡崎市立羽根小 5年　鳥山　綾子		○美浜町立河和小 2年　黒田　美久 ○豊田市立飯野小 3年　妹尾　咲菜 ○岡崎六ツ美西部小 6年　勝木　聖良 ○稲沢市立稲沢東小 6年　夫馬　寛子	
	○知多市立旭南中 3年　鈴木さや香 ○豊田市立高岡中 3年　安井　真貴		○岡崎市立甲山中 3年　鳥居　千穂 ○豊明市立栄中 3年　武村　彩加		○美浜市立河和中 3年　横田みなみ ○豊橋市立牟呂中 1年　加藤　里奈		○岡崎市立甲山中 3年　稲垣　真凛 ○一宮市立南部中 1年　山﨑　葉月		○江南市立北部中 3年　尾関　彩圭 ○岡崎市立常盤中 3年　鎌田　実咲	
	○愛知淑徳高 2年　杉山　由貴 ○一宮東養護　高 1年　浅井　孝文		○西春高 3年　柴田真梨子 ○一宮東養護　高 1年　兼松　孝介		○一宮西高 1年　堀田　明里 ○一宮東養護　高 1年　丹羽　浩貴		○千種高 1年　秋良　真由 ○千種高 2年　藤井　佳穂		○千種高 2年　石川　智子 ○ひいらぎ養護　高 1年　水谷　理子	
愛知県コンクール優良賞	○岡崎市立本宿小 2年　上林　建貴 ○安城市立三河安城小 3年　鳥居　大輝 ○岡崎市立三島小 2年　高塩　芹 ○一宮市立千秋小 5年　横山　佳子 ○岡崎市立六名小 5年　田村　洋輔		○大府市立石ヶ瀬小 1年　戸田かれん ○岡崎市立岡崎小 2年　平松　茉莉 ○知立市立知立東小 6年　三浦　祥子 ○一宮市立瀬部小 6年　斉籐　和音		○刈谷市立小高原小 3年　山本　有悟 ○南知多町立師崎小 1年　磯部　誓也 ○七宝町立宝小 6年　大道祐美子 ○岡崎市立藤川小 6年　石川　奈歩		○一宮市立大徳小 1年　横倉　星 ○岡崎市立六名小 1年　中川　由理 ○岡崎市立矢作西小 5年　鈴木　里紗 ○稲沢市立清水小 5年　三輪　香織		○豊田市立伊保小 3年　福岡　凌 ○小牧市立味岡小 3年　牧田茉理乃 ○一宮市立宮西小 6年　前田　靖晴 ○豊川市立中部小 6年　朝倉　早紀	
	○安城市立東山中 1年　星野ひろみ ○一宮市立西成中 1年　斉藤　和馬		○東浦町立北部中 3年　村田知咲季 ○豊川市立南部中 2年　濵島　成愛		○岡崎市立甲山中 2年　稲垣　真凛 ○一宮市立萩原中 2年　加藤　陽乃		○江南市立北部中 2年　尾関　清圭 ○豊橋市立牟呂中 2年　加藤　里奈		○岡崎市立甲山中 1年　武笠　結天 ○一宮市立葉栗中 3年　吉川　葵	
	○椙山女学園高 2年　中尾　妙充 ○起工業高 2年　大川　弥生 ○起工業高 2年　武田由李恵 ○一宮東養護　高 1年　正村　和貴 ○豊川養護　高 1年　鎌倉　和宏 ○豊川養護　小 5年　日向　暁士 ○豊橋聾　小 4年　中村　美喜 ○岡崎聾　小 2年　新屋　光将		○千種高 1年　原　万梨江 ○千種高 1年　市原　卓哉 ○豊橋聾　中 1年　白井　民子 ○岡崎聾　小 3年　宮田　琴美 ○一宮東養護　高 1年　長屋　俊宏 ○一宮東養護　高 1年　安達　康佑 ○一宮東養護　高 1年　水野　紀幸		○国府高 2年　伊藤　悠子 ○若宮商業高 2年　野村　友見 ○千種高 1年　藤井　佳穂 ○豊川養護　高 3年　鈴木　基主 ○豊川養護 中 1年　佐々木吉孝 ○一宮東養護　高 1年　西平あさき ○一宮東養護　高 1年　今枝　大樹 ○千種聾　小 3年　穴井翔太郎		○一宮東養護　高 1年　瀧ノ上　享 ○一宮西高 2年　堀田　明里		○千種高 2年　堀田　敦子 ○起工業高 1年　牛田　有紀	
全国コンクール入賞者	**優良賞** ○起工業高 2年　武田由李恵				**優良賞** ○南知多町立師崎小 1年　磯部　誓也		**優秀賞** ○岡崎市立六名小 1年　中川　由理 **優良賞** ○豊橋市立牟呂中 2年　加藤　里奈		**優良賞** 岡崎市立六ツ美西部小 6年　勝木　聖良	

（小・中学校は名古屋市を除く）

年度／数 ／校種別	平成20年度（第20回）		平成21年度（第21回）		平成22年度（第22回）		平成23年度（第23回）		平成24年度（第24回）	
	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数	学校数	応募作品数
小学校	650	147,250	680	147,882	756	153,937	491	151,892	579	157,832
中学校	104	2,882	107	3,582	133	2,600	98	3,031	96	2,163
高等学校 特別支援学校	36	2,427	37	1,643	24	1,397	26	1,247	28	1,492
合計	790	152,559	824	147,107	913	157,934	615	156,170	703	161,487
愛知県コンクール優秀賞	○岡崎市立常盤小 1年　内藤　千尋 ○春日井市立春日井小 1年　山口　尚樹 ○知多市立八幡小 6年　内山結希子 ○岡崎市立緑丘小 6年　辻村　篤也		○一宮市立大志小 2年　伊藤　実香 ○豊田市立飯野小 2年　三宅　蒼気 ○岡崎市立細川小 6年　倉橋　美帆 ○稲沢市立稲沢東小 5年　夫馬　理子		○岡崎市立美合小 1年　新谷　亮太 ○一宮市立大徳小 2年　川口　椋平 ○知多市立つつじが丘小 5年　鶴田　一輝 ○岡崎市立六名小 6年　中川　綾乃		○美浜町立野間小 2年　岸岡　勇暉 ○岡崎市立大門小 2年　仲井　誠剛 ○岡崎市立根石小 6年　大原　夕奈 ○一宮市立今伊勢小 4年　伊佐治乃亜		○岡崎市立北野小 3年　上野　微笑 ○一宮市立黒田小 3年　内藤ののか ○江南市立布袋北小 6年　杉本　恵里 ○岡崎市立上地小 5年　柳澤ありす	
	○岡崎市立甲山中 2年　武笠　結天 ○東浦町立北部中 3年　戸崎　菜香		○小牧市立小牧西中 2年　伊藤　優花 ○岡崎市立竜海中 2年　夜船　文香		○安城市立安城南中 3年　鈴木　和 ○一宮市立丹陽中 3年　倉知　由希		○小牧市立北里中 1年　松田　愛梨 ○豊橋市立南部中 2年　平野　夏海		○安城市立桜井中 2年　三浦　若菜 ○小牧市立岩崎中 2年　牧田茉理乃	
	○江南高 1年　尾関　彩圭 ○岩倉総合高 2年　富吉　美尋		○旭丘高 3年　村松　怜那 ○一宮東養護 1年　磯崎　亮		○岩倉総合高 1年　丸井　凌 ○半田高 1年　成瀬由梨香		○岩倉総合高 3年　原田　絵美		○一宮東養護 3年　服部　航平 ○岩倉総合高 1年　井上　七海	
愛知県コンクール優良賞	○一宮市立大徳小 2年　浅野　皆斗 ○岡崎市立広幡小 3年　鈴木　夏実 ○豊田市立冷田小 4年　河合茉衣佳 ○小牧市立味岡小 4年　牧田茉理乃		○岡崎市立井田小 1年　内藤　優 ○愛西市立西川端小 3年　岩田　大輝 ○扶桑町立高雄小 6年　菅瀬　彩音 ○岡崎市立広幡小 4年　片岡　有紗		○一宮市立瀬部小 2年　川邊彩里菜 ○岡崎市立城南小 3年　山田　磨怜 ○安城市立桜井小 6年　三浦　若菜 ○小牧市立北里小 6年　松田　愛梨		○豊田市立美山小 1年　山下　昇龍 ○犬山市立犬山北小 2年　尾鷲　直哉 ○稲沢市立大塚小 6年　三輪　愛 ○岡崎市立城南小 4年　兼田　理瑚		○東浦町立森岡小 3年　横山　芽玖 ○岡崎市立常盤小 2年　日野　太地 ○岡崎市立大樹寺小 4年　大山　萌恵 ○一宮市立葉栗小 6年　小島亜佑子	
	○春日井市立東部中 2年　小川　萌 ○岡崎市立甲山中 3年　岩田　藍		○岡崎市立常盤中 3年　柴田　有貴 ○長久手市立南中 2年　吉田　紅音		○清須市立春日中 3年　丹羽　優香 ○豊橋市立牟呂中 2年　加藤　佑実		○岡崎市立常盤中 3年　大地　佳那 ○小牧市立岩崎中 1年　牧田茉理乃		○一宮市立浅井中 2年　田尻　実緒 ○豊橋市立南部中 2年　鈴木明日香	
	○千種高 1年　田島　春菜 ○旭丘高 2年　村松　怜那		○千種高 1年　加舎のぞみ ○岩倉総合高 1年　岡谷　明里		○椙山女学園高 1年　江口　奈菜 ○岩倉総合高 1年　松本　悠		○人間環境大学 岡崎学園高 2年　柴田　有貴 ○椙山女学園高 2年　江口　奈菜 ○岩倉総合高 2年　加藤　弓絵		○岩倉総合高 2年　丹羽　優香 ○椙山女学園高 3年　江口　奈菜	
全国コンクール入賞者	**優秀賞** ○旭丘高 2年　村松　怜那				**優秀賞** ○半田高 1年　成瀬由梨香 **優良賞** ○　岡崎市立城南小 3年　山田　磨怜		**優良賞** ○小牧市立岩崎中 1年　牧田茉理乃 ○岩倉総合高 3年　原田　絵美		**優秀賞** ○一宮市立浅井中 2年　田尻　実緒	

読書ゆうびんコンテストの８年（平成15年度～平成22年度）

年度／数 ／校種別		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
		応募作品数	応募作品数	応募作品数	応募作品数
小学校	低学年	16,616	17,419	15,324	16,692
	中学年	14,272	14,133	13,407	15,580
	高学年	13,144	13,663	12,234	14,183
中学校		11,846	11,969	10,903	12,530
高等学校		246	634	923	934
合計		56,124	57,818	52,823	59,919
読書ゆうびん大賞			○豊橋市立松葉小 山本　愛莉		○豊橋市立松葉小 磯村万由子
愛知県知事賞		○瀬戸市立水野小 旭　　健児 ○碧南市立中央小 和田帆奈美 ○春日井市立春日井小 吉川　紗代 ○豊橋市立羽根井小 手嶋　千子 ○稲沢市高御堂小 太田　昴輝 ○豊橋市立羽根井小 深野沙亜也 ○知多市立八幡中 浅田　友都 ○豊橋市立豊城中 新木　美輪 ○常滑高 田中　友紀	○稲沢市立祖父江小 栗田　雅大 ○岡崎市立連尺小 山口佳那子 ○日進市立香具山小 江口　美緒 ○春日井市立春日井小 小川　雄也 ○豊橋市立鷹丘小 杉浦　麻衣 ○尾張旭市立西中 小木曽奈緒 ○豊田市立朝日丘中 田中　沙季 ○藤ノ花女子高 大西麻奈美	○稲沢市立小正小 入野　花織 ○碧南市立中央小 池田　早織 ○春日井市立春日井小 小川　貴大 ○碧南市立新川小 岩月みちね ○津島市立西小 山口　佳淑 ○豊橋市立羽根井小 手嶋　千子 ○清須市立西枇杷島中 林　　麻純 ○岡崎市立竜海中 鬼頭沙友子 ○椙山女学園高 高田　有紀	○美浜町立布土小 横田　優花 ○岡崎市立美合小 河内　健就 ○知多市立新田小 小林　駿太 ○碧南市立新川小 岩月みちね ○犬山市立犬山北小 山田　莉央 ○豊橋市立高師台中 清水　麻由 ○一宮市立尾西第二中 宮谷　恭代 ○一宮西高 堀田　明里
愛知県教育委員会賞		○春日井市立不二小 牧野　美来 ○豊橋市立つつじが丘小 鈴木　明日香 ○一宮市立瀬部小 河野　雄太 ○豊橋市立東田小 田中　智美 ○甚目寺町立南小 坂部　翔吾 ○知立市立知立小 近藤　さらな ○犬山市立犬山中 井上　真彩 ○豊田市立朝日丘中 高松　　和 ○藤ノ花女子高 大西　麻奈美	○犬山市立犬山西小 橋本　佳奈 ○岡崎市立上地小 重村　実奈 ○津島市立西小 中村　文香 ○西尾市立西尾小 加藤　由梨 ○一宮市立瀬部小 河野　雄太 ○豊橋市立羽根井小 深野沙亜也 ○知多市立八幡中 浅田　友都 ○知多市立竜北中 近藤さらな ○椙山女学園高 榊原　希美	○春日井市立春日井小 吉田　裕香 ○豊橋市立松葉小 磯村万由子 ○一宮市神山小 宮田　崇大 ○豊橋市立松葉小 金子　桂子 ○春日井市立春日井小 小川　雄也 ○一宮市立一宮東部小 竹内　　葵 ○一宮市立萩原中 滝藤　　奨 ○みよし市立北中 今川　　瞳 ○愛知工業高 加藤　　茜	○岡崎市立上地小 野上　遙貴 ○一宮市立貴船小 横山　明生 ○豊橋市立松葉小 磯村太一郎 ○大府市大府小 鈴木　良英 ○豊橋市立福岡小 田中　菜緒 ○日進市立香具山小 森　　圭史 ○豊田市立益富中 菅沼　理央 ○瀬戸市立水無瀬中 加藤のぞみ ○春日井南高 加藤　有紀

（小・中学校は名古屋市を除く）

校種別＼年度		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
校種別＼数		応募作品数	応募作品数	応募作品数	応募作品数
小学校	低学年	17,533	19,104	18,985	21,133
	中学年	16,551	15,823	17,310	18,039
	高学年	15,380	15,540	17,309	19,214
中学校		9,485	12,333	10,490	11,234
高等学校		525	1,011	1,237	989
合計		59,474	63,811	65,332	70,609
読書ゆうびん大賞		○豊橋市立豊岡中 幸田　光世			
愛知県知事賞		○一宮市立向山小 中西　元希 ○豊橋市立松葉小 岡野　　司 ○犬山市立犬山北小 北脇　結衣 ○豊橋市立松葉小 磯村万由子 ○一宮市立木曽川西小 田中　幹也 ○碧南市立新川小 岩月みちね ○弥富市立弥富北中 伊藤　　雅 ○椙山女学園高 佐藤　　光	○大府市立大府小 鈴木　俊哉 ○岡崎市立美合小 中山さくら ○美浜町立布土小 横田さくら ○刈谷市立平成小 鈴木　愛乃 ○一宮市立神山小 宮田　嵩大 ○豊橋市立豊小 三竹　葉月 ○春日井市立東部中 伊藤　華子 ○豊橋市立中部中 伊藤　浩子 ○岩津高 安藤　　光	○一宮市立神山小 大橋　香帆 ○岡崎市立美合小 藤原　琴音 ○一宮市立西成小 片山　聖奈 ○岡崎市立連尺小 兵頭梨歩夏 ○犬山市立犬山北小 北脇　結衣 ○知立市立知立南小 都築　強介 ○春日井市立東部中 伊藤　華子 ○刈谷市立依佐美中 中根　彩未 ○名大教育学部付属高 井川友里恵	○一宮市立大徳小 小澤　龍成 ○豊橋市立松葉小 磯村沙和子 ○武豊町立緑丘小 池辺　瑞姫 ○岡崎市立上地小 松本　彩七 ○津島市立西小 中村　洋貴 ○豊田市立堤小 菊田　光我 ○春日井市立東部中 伊藤　華子 ○碧南市立新川中 鍔本みちね ○椙山女学園高 小川　　萌
愛知県教育委員会賞		○常滑市立西浦北小 守山木乃芽 ○豊橋市立磯辺小 河合　奏音 ○一宮市立末広小 武藤　花歩 ○豊橋市立松葉小 磯村太一郎 ○津島市立西小 中村　文香 ○碧南市立中央小 和田帆奈美 ○北名古屋市立訓原中 黒辺　桃子 ○愛教大学付属岡崎中 前田　春香 ○藤ノ花女子高 伊藤　由貴	○犬山市立犬山北小 進藤　綾乃 ○愛教大学付属岡崎小 牧野　　龍 ○一宮市立丹陽南小 赤佐　　凌 ○岡崎市立磯辺小 鈴木　絢子 ○一宮市立今伊勢西小 大鹿　司起 ○碧南市立中央小 和田帆奈美 ○津島市立天王中 山口　佳淑 ○碧南市立新川中 岩月みちね ○藤ノ花女子高 兼子　茉純	○日進市立赤池小 守山　花苗 ○岡崎市立梅園小 依田　桜子 ○大府市立大府小 鈴木　俊哉 ○豊橋市立磯部小 河合　奏音 ○大府市大府小 鈴木　良英 ○豊橋市立向山小 髙柳　知里 ○北名古屋市立訓原中 吉田　真夕 ○碧南市立中央中 和田帆奈美 ○椙山女学園高 小林　桜子	○清須市立古城小 杉山　一輝 ○岡崎市立本宿小 古田ひより ○大府市立大府小 鈴木　俊哉 ○豊川市立豊川小 鈴木　啓太 ○稲沢市立千代田小 早川　春奈 ○岡崎市立大樹寺小 本間　千晶 ○一宮市立南部中 今井　絢子 ○碧南市立中央中 和田帆奈美 ○一宮東養護　高 小出　有史

研究会役員・理事一覧表

年度		15年度	16年度	17年度
会長		福岡　武宏（豊田市立猿投台中）	阿部　重紀（春日井西高）	須賀　陽子（犬山市立城東小）
副会長		清水　國光（瀬戸高） 川崎　東剛（一宮市立北方小） 伊藤　嘉彦（豊川市立萩小）	川崎　東剛（一宮市立北方小） 伊藤　嘉彦（豊川市立一宮東部小） 中島　渡（瀬戸北高）	山本　章司（蒲郡市立蒲郡南部小） 阿部　重紀（春日井西高） 栗原　道人（瀬戸市立幡山小）
事務局長		坪井富士男（豊田市立東保見小）	鈴木　俊司（昭和高）	鈴木　洋子（大口町立大口西小）
監事		小林　稔（知多市立旭南中） 阿部　重紀（春日井西高）	小林　稔（大府市立吉田小） 中根　洋（岡崎市立羽根小）	平野　明夫（高浜市立吉浜小） 小野　俊夫（春日井南高）
事務部長	尾張	伊神佐知子（一宮市立丹陽小）	伊神佐知子（一宮市立丹陽小）	鈴木　洋子（大口町立大口西小）
	三河	野間　寛（愛教大付属岡崎中） 河合　伸治（豊橋市立高豊中）	坪井富士男（豊田市立上鷹見小） 河根　恵子（蒲郡市立竹島小）	渥美久美子（岡崎市立羽根小） 河根　恵子（蒲郡市立竹島小）
	高校	田中　伸治（瀬戸北高）	鈴木　俊司（昭和高）	鈴木　俊司（昭和高）
会務三部長	研究	中根　洋（岡崎市立羽根小）	浅井　博義（岡崎商高）	須賀　陽子（城東小）
	紀要	遠藤　克也（五条高）	加藤　保子（あま市立篠田小）	近藤　輝和（刈谷市立富士松東小）
	読感	馬場　隆敏（稲沢市立千代田小）	山本　章司（蒲郡市立蒲郡南部小）	田中多喜彦（向陽高）
理事・部員	尾張	須賀　陽子（犬山市立城東小） 加藤　保子（あま市立篠田小） 馬場　隆敏（稲沢市立千代田小） 栗原　道人（瀬戸市立陶原小） 伊神佐知子（一宮市立丹陽小） 市川　督哲（稲沢市立平和中） 青木　弘（瀬戸市立水野小） 穴沢　隆弘（岩倉市立南部中） 伊藤　幸代（愛西市立佐屋中） 堀木　研一（大府市立共長小）	須賀　陽子（犬山市立城東小） 加藤　保子（あま市立篠田小） 馬場　隆敏（稲沢市立千代田小） 栗原　道人（瀬戸市立幡山小） 伊神佐知子（一宮市立丹陽小） 市川　督哲（稲沢市立平和中） 青木　弘（瀬戸市立水野小） 穴沢　隆弘（岩倉市立南部中） 伊藤　幸代（愛西市立八開中） 堀木　研一（半田市立半田小）	岩見田令子（一宮市立大和西小） 平野　洋子（津島市立神守小） 馬場　隆敏（稲沢市立千代田小） 山本　英夫（東海市立横須賀小） 倉兼　清子（一宮市立赤見小） 青木　弘（瀬戸市立水野小） 安田　剛章（稲沢市立大里東中） 古川　文子（犬山市立東小） 伊藤　幸代（愛西市立八開中） 堀木　研一（半田市立半田小）
	三河	中根　洋（岡崎市立羽根小） 杉浦　勝美（新城市立開成小） 藤原　辰明（安城市立安城東部小） 山本　章司（蒲郡市立蒲郡南部小） 平野　明夫（高浜市立吉浜小） 河合　伸治（豊橋市立高豊中） 野間　寛（愛教大付属岡崎中） 渥美久美子（岡崎市立矢作南小） 小林　達也（西尾市立鶴城中） 竹本　正子（豊田市立豊南中）	山本　章司（蒲郡市立蒲郡南部小） 近藤　真澄（豊橋市立花田小） 近藤　輝和（刈谷市立富士松東小） 小林　忠司（豊川市立豊小） 平野　明夫（高浜市立吉浜小） 坪井富士男（豊田市立上鷹見小） 河根　恵子（蒲郡市立竹島小） 富安　夏世（豊橋市立青陵中） 小林　達也（西尾市立西野町小） 榎本　吉邦（幸田町立幸田中）	小林　忠司（豊川市立豊小） 近藤　輝和（刈谷市立富士松東小） 加藤　恵子（安城市立安城東部小） 酒井　敏子（豊橋市立汐田小） 宇野真知子（豊田市立矢並小） 河根　恵子（蒲郡市立竹島小） 渥美久美子（岡崎市立羽根小） 富安　夏世（豊橋市立青陵中） 小林　達也（西尾市立西野町小） 榎本　吉邦（幸田町立幸田中） 小林　隆子（刈谷市立富士松南小）
	高校	遠藤　克也（五条高） 横山　和夫（桜台高） 山田　和男（市邨高） 白井　孝一（小坂井高） 山田　博之（衣台高） 伊藤　庄造（半田農業高） 田中　伸治（瀬戸北高） 中村　勝広（五条高） 伊藤　多重（桜台高） 高橋　芳彦（市邨高）	浅井　博義（岡崎商業高） 櫻井　隆司（中央高） 鈴木　洋一（菊華高） 笠井紀世史（犬山高） 大河　一夫（蒲郡東高） 谷澤　隆（半田農業高） 佐伯　憲治（岡崎商業高） 山路　久人（中央高） 石川　浩平（菊華高）	近藤　篤（木曽川高） 近藤　一雄（一色高） 細井　正雄（宝隆高） 冨田　律夫（東海商業高） 田中多喜彦（向陽高） 澤田　富夫（享栄高） 鈴木　俊司（昭和高） 原口　由夫（春日井南高） 川口　増彦（向陽高） 田中　邦彦（享栄高）

年度		18年度	19年度	20年度
会長		山本　章司（蒲郡市立蒲郡南部小）	阿部　重紀（豊田南高）	内蔵　真澄（稲沢市立領内小）
副会長		阿部　重紀（豊田南高） 須賀　陽子（犬山市立城東小） 小林　忠司（豊川市立豊小）	内蔵　真澄（稲沢市立領内小） 山本　章司（蒲郡市立蒲郡南部小） 吉見　元孝（吉良高）	宮田　光義（刈谷市立東刈谷小） 阿部　重紀（豊田南高） 高橋　寛直（美和町立正則小）
事務局長		小林　達也（西尾市立西尾中）	原口　由夫（春日井南高）	安田　剛章（稲沢市立千代田中）
監事		内蔵　真澄（稲沢市立領内小） 小野　俊夫（春日井南高）	須賀　陽子（犬山市立城東小） 宮田　光義（刈谷市立東刈谷小）	阿部まゆみ（豊橋市立羽根井小） 赤尾　和雄（一宮南高）
事務部長	尾張	渡辺まゆみ（岩倉市立五条川小）	安田　剛章（稲沢市立千代田中）	伊藤　啓未（稲沢市立明治中）
	三河	渥美久美子（岡崎市立羽根小） 河根　恵子（蒲郡市立竹島小）	柘植　育子（刈谷市立平成小） 小嶋　浩子（豊川市立中部小）	柘植　育子（刈谷市立平成小） 小嶋　浩子（豊川市立中部小）
	高校	鈴木　俊司（昭和高）	鈴木　俊司（昭和高）	鈴木　俊司（昭和高）
会務三部長	研究	山本　章司（蒲郡市立蒲郡南部小）	近藤喜美代（丹羽高）	内蔵　真澄（稲沢市立領内小）
	紀要	小野　俊夫（春日井南高）	内蔵　真澄（稲沢市立領内小）	宮田　光義（刈谷市立東刈谷小）
	読感	須賀　陽子（犬山市立城東小）	山本　章司（蒲郡市立蒲郡南部小）	伊藤　和美（名古屋商業高）
理事・部員	尾張	岩見田令子（一宮市立大和西小） 平野　洋子（津島市立神守小） 向井　英二（春日井市立味美中） 山本　英夫（東海市立横須賀小） 森　美穂（一宮市立萩原小） 加藤　淳二（春日井市立玉川小） 安田　剛章（稲沢市立大里東中） 渡辺まゆみ（岩倉市立五条川小） 伊藤　幸代（愛西市立八開中） 堀木　研一（半田市立半田小）	高橋　寛直（美和町立正則小） 霜　和美（春日井市立味美小） 岩見田令子（一宮市立大和西小） 山本　英夫（半田市立亀崎小） 森　美穂（一宮市立萩原小） 加藤　淳二（春日井市立玉川小） 安田　剛章（稲沢市立千代田中） 伊藤　幸代（津島市立西小） 谷川真理子（東海市立平洲小） 大島奈保美（犬山市立犬山北小）	霜　和美（春日井市立味美小） 尾関　正照（江南市立草井小） 岩見田令子（一宮市立大和西小） 山本　英夫（半田市立亀崎小） 森　美穂（一宮市立萩原小） 伊藤　幸代（津島市立神島田小） 加藤　淳二（春日井市立玉川小） 大島奈保美（犬山市立犬山北小） 伊藤　啓未（稲沢市立明治中） 堀田　忠孝（稲沢市立大里西小） 川村　恵理（愛西市立佐屋西小） 谷川真理子（東海市立平洲小）
	三河	酒井　敏子（豊橋市立汐田小） 金原　宏（刈谷市立住吉小） 宇野真知子（豊田市立矢並小） 河根　恵子（蒲郡市立竹島小） 渥美久美子（岡崎市立羽根小） 中村　亮一（豊橋市立東部中） 小嶋　浩子（豊川市立中部小） 榎本　吉邦（幸田町立深溝小） 柘植　育子（刈谷市立平成小） 浅井　玲子（安城市立安城南部小）	宇野真知子（豊田市立矢並小） 村松　二朗（碧南市立鷲塚小） 酒井　敏子（豊橋市立汐田小） 浅井　圭子（岡崎市立甲山中） 赤城　政子（豊田市立畝部小） 柘植　育子（刈谷市立平成小） 矢田真由美（西尾市立西野町小） 鈴木　善江（豊橋市立前芝中） 壁谷　琴美（蒲郡市立塩津中） 石原恵美子（新城市立東郷西小） 小嶋　浩子（豊川市立中部小）	杉浦　徹（新城市立協和小） 大久保幾三（岡崎市立緑丘小） 杉　喜久代（安城市立錦町小） 小嶋　浩子（豊川市立中部小） 柘植　育子（刈谷市立平成小） 鈴木　善江（豊橋市立前芝中） 長谷　家泰（新城市立千郷中） 矢田真由美（西尾市立西野町小） 稲垣　智子（安城市立作野小） 新美　有加（知立市立猿渡小） 野口　千晴（西尾市立横須賀小） 大橋　忠男（刈谷市立双葉小）
	高校	薗部よし子（稲沢東高） 藤井　和義（碧南工業高） 葉山　茂生（福江高） 森田　耕治（常滑高） 市川　直啓（市立工芸高） 深谷　昌一（金城学院高） 鈴木　俊司（昭和高） 原口　由夫（春日井南高） 花岡　道子（市立工芸高） 橘　洋子（金城学院高）	西尾恭一郎（春日井西高） 吉沢　雅之（犬山南高） 近藤喜美代（丹羽高） 伊藤　尋思（豊橋西高） 渡辺　信男（横須賀高） 加藤　博美（名東高） 水谷　丈市（椙山女学園高） 鈴木　俊司（昭和高） 笹山　悦子（春日井西高） 鬼頭　隆（名東高） 横井　幸一（椙山女学園中）	西尾恭一郎（春日井西高） 吉見　和俊（岡崎工業高） 青木　睦彦（豊橋南高） 伊藤　泰臣（東浦高） 伊藤　和美（名古屋商業高） 加藤　安信（大同工業大大同高） 鈴木　俊司（昭和高） 笹山　悦子（春日井西高） 野中　律子（名古屋商業高） 牧野　信（大同工業大大同高）

年度		21年度	22年度	23年度
会長		宮田　光義（刈谷市立東刈谷小）	荻原　哲哉（瀬戸北高）	森　美穂（一宮市立西成東小）
副会長		西尾恭一郎（春日井西高） 東野　真志（稲沢市立大里東小） 稲垣　考俊（豊川市立萩小）	高橋　康三（東郷高） 森　美穂（一宮市立西成東小） 稲垣　考俊（豊川市立萩小）	稲垣　考俊（豊川市立萩小） 荻原　哲哉（瀬戸北総合高） 浅野　京子（東浦町立西部中）
事務局長		大橋　忠男（刈谷市立双葉小）	石原　伸祐（瀬戸北高）	加藤　真紀（一宮市立浅井南小）
監事		石黒　茂（杏和高） 森　美穂（一宮市立西成東小）	岩下　洋三（あま市立篠田小） 大山　康子（豊田市立冷田小）	大山　康子（豊田市立冷田小） 石原　伸祐（瀬戸北総合高）
事務部長	尾張	伊藤　啓未（稲沢市立千代田中）	土屋　艶子（一宮市立北方小）	土屋　艶子（一宮市立北方小）
	三河	柘植　育子（刈谷市立小高原小） 小嶋　浩子（豊川市立一宮東部小）	古澤　清貴（豊田市立畝部小） 佐原　浩子（豊橋市立羽根井小）	磯谷　敦子（豊田市立豊松小） 佐原　浩子（豊橋市立羽根井小）
	高校	笹山　悦子（春日井西高）	笹山　悦子（春日井西高）	石原　伸祐（瀬戸北総合高）
会務三部長	研究	宮田　光義（刈谷市立東刈谷小）	高橋　康三（東郷高）	森　美穂（一宮市立西成東小）
	紀要	荻原　哲哉（瀬戸北高）	杉浦　恵子（東浦町立藤江小）	稲垣　考俊（豊川市立萩小）
	読感	東野　真志（稲沢市立大里東小）	稲垣　考俊（豊川市立萩小）	荻原　哲哉（瀬戸北総合高）
理事・部員	尾張	木村　芳博（小牧市立米野小） 尾関　正照（江南市立草井小） 岩下　洋三（あま市立篠田小） 杉浦　恵子（東浦町立藤江小） 大島　純子（一宮市立千秋東小） 伊藤　幸代（津島市立神島田小） 冨田　賢史（小牧市立小牧中） 渡辺まゆみ（岩倉市立五条川小） 安田　剛章（稲沢市立長岡小） 伊藤　啓未（稲沢市立千代田中） 石村　智美（津島市立天王中） 谷川真理子（東海市立平洲小）	木村　芳博（小牧市立米野小） 尾関　正照（江南市立草井小） 東野　真志（稲沢市立大里東小） 杉浦　恵子（東浦町立藤江小） 鷹見みゆき（知多市立中部中） 大島　純子（一宮市立千秋東小） 土屋　艶子（一宮市立北方小） 伊藤　幸代（津島市立神島田小） 冨田　賢史（小牧市立小牧中） 福嶋　淳代（小牧市立岩崎中） 渡辺まゆみ（岩倉市立岩倉東小） 安田　剛章（稲沢市立長岡小） 石村　智美（津島市立天王中） 真山　恵（知多市立旭東小） 大島奈保美（犬山市立犬山北小）	木村　芳博（小牧市立米野小） 尾関　正照（扶桑町立扶桑中） 祖父江辰巳（稲沢市立片原一色小） 伊藤　博康（（愛西市立八輪小） 真野なおみ（一宮市立丹陽南小） 土屋　艶子（一宮市立北方小） 伊藤　幸代（津島市立神島田小） 谷川真理子（東浦町立西部中） 冨田　賢史（小牧市立小牧中） 渡辺まゆみ（岩倉市立岩倉東小） 大島奈保美（犬山市立犬山北小） 安田　剛章（稲沢市立長岡小） 石原　惠理（あま市立篠田小） 林　智子（美浜町立野間中） 岩田　久則（東海市立平洲小）
	三河	阿部まゆみ（豊橋市立羽根井小） 石川みつ子（豊田市立滝脇小） 市田　幸代（高浜市立吉浜小） 小嶋　浩子（豊川市立一宮東部小） 柘植　育子（刈谷市立小高原小） 新実　千咲（刈谷市立東刈谷小） 佐原　浩子（豊橋市立羽根井小） 河辺紗代子（豊川市立東部小） 壁谷　琴美（蒲郡市立大塚中） 白井　淳子（田原市立衣笠小） 井上　弘子（豊田市立本城小） 三牧　道代（碧南市立西端小） 野口　千晴（吉良町立吉良中） 林　恵里子（みよし市立北部小）	阿部まゆみ（豊橋市立羽根井小） 澤井　政之（田原市立福江小） 鈴木　純子（岡崎市立連尺小） 土屋　玲子（安城市立三河安城小） 古澤　清貴（豊田市立畝部小） 佐原　浩子（豊橋市立根井小） 鈴木　菊代（豊橋市立羽田中） 河辺紗代子（豊川市立東部小） 田中　琴美（蒲郡市立大塚中） 石原恵美子（新城市立東郷西小） 鈴木　美佐（岡崎市立緑丘小） 小田　恵子（安城市立安城西部小） 大橋　忠男（刈谷市立小垣江小）	杉浦　博人（豊橋市立大崎小） 榊原　重幸（安城市立明和小） 鈴木　純子（岡崎市立連尺小） 安藤　孝枝（豊川市立桜木小） 佐原　浩子（豊橋市立羽根井小） 鈴木　菊代（豊橋市立羽田中） 石原恵美子（新城市立東郷西小） 磯谷　敦子（豊田市立豊松小） 丹下知佐子（岡崎市立矢作西小） 長葭　教明（豊田市立末野原中） 稲垣　智子（安城市立丈山小）
	高校	荻原　哲哉（瀬戸北高） 藤井　和弘（猿投農林高） 中島　剛（国府高） 坂野　博幸（半田東高） 朝倉　隆司（西陵高） 渡邉　安祥（名経大高蔵高） 笹山　悦子（春日井西高） 中山　正秋（明和高） 服部　美紀（西陵高） 上村　淳（名経大高蔵高）	前田　秀己（豊野高） 奥村　俊三（岩倉総合高） 伊藤　実朗（阿久比高） 村上　雅之（豊丘高） 今村　眞志（菊里高） 松本　吉男（至学館高） 北角　尚治（春日井西高） 笹山　悦子（春日井西高） 鈴木　俊司（昭和高） 安藤　嘉成（千種高） 原　一仁（東郷高） 上田　美穂（阿久比高） 奥村　要一（菊里高） 横井　勝市（豊野高） 鈴木　紹雄（豊丘高） 木村　元子（至学館高）	高橋　康三（東郷高） 森　文代（市立北高） 伊神　勝彦（中京大附属中京高） 大竹　玄之（尾西高） 岡田　雄司（半田農業高） 阿知和聖二（松平高） 上田　末喜（豊橋工業高） 原　一仁（東郷高） 安藤　尚（市立北高） 松井　哲彦（中京大附属中京高）

年度		24 年 度
会長		稲垣　考俊（豊川市立小坂井西小）
副会長		柴田　悦己（岡　崎　東　高） 竹下　耕志（新　城　東　高） 森　美穂（一宮市立西成東小） 榊原　重幸（安城市立明和小）
事務局長		和田　昌子（豊川市立長沢小）
監事		浅野　京子（東浦町立西部中） 石原　伸祐（瀬戸北総合高）
事務部長	尾張	土屋　艶子（一宮市立小信中島小）
	三河	仲井　昌美（豊田市立竹村小） 河辺紗代子（豊川市立金屋小）
	高校	石原　伸祐（瀬戸北総合高）
会務三部長	研究	稲垣　考俊（豊川市立小坂井西小）
	紀要	柴田　悦己（岡　崎　東　高）
	読感	浅野　京子（東浦町立西部中）
理事・部員	尾張	木村　芳博（小牧市立小牧原小） 堀田　義賢（稲沢市立稲沢北小） 神戸貴美子（あま市立宝小） 大島　純子（一宮市立葉栗北小） 尾関　正照（扶桑町立扶桑中） 伊藤　幸代（津島市立神守小） 真野なおみ（一宮市立丹陽南小） 土屋　艶子（一宮市立小信中島小） 加藤　真紀（一宮市立浅井南小） 冨田　賢史（小牧市立小牧中） 渡辺まゆみ（(岩倉市立岩倉東小） 大島奈保美（犬山市立犬山北小） 安田　剛章（稲沢市立長岡小） 河合　芳恵（稲沢市立稲沢北小） 石原　惠理（あま市立篠田小） 林　智子（常滑市立鬼崎中） 岩田　久徳（東海市立平洲小） 石原　里美（知多市立岡田小）
	三河	杉浦　博人（豊橋市立大崎小） 渥美久美子（岡崎市立広幡小） 竹本　正子（豊田市立堤小） 河辺紗代子（豊川市立金屋小） 安藤　孝枝（豊川市立桜木小） 河合　知美（豊橋市立向山小） 仲井　昌美（豊田市立竹村小） 丹下知佐子（岡崎市立矢作西小） 山本　伸（岡崎市立広幡小） 小島　秀夫（西尾市立東部中）
	高校	高橋　康三（東　郷　高） 出井　良直（美　和　高） 山内　正人（武　豊　高） 小林　整次（加　茂　丘　高） 鈴木　研（三　谷　水　産　高） 三浦　久方（若　宮　商　業　高） 林　道隆（東　海　高） 山口　武人（新　城　東　高） 望月　淳子（美　和　高） 太田　鉄史（若　宮　商　業　高） 近藤　信彦（東　海　高）

第36回東海地区学校図書館研究大会（豊橋大会）

と　き　　平成25年８月７日㈬～８日㈭
ところ　　第１日（全体会）　穂の国とよはし芸術劇場（豊橋市西小田原町123）
　　第２日（分科会）　愛知大学（豊橋市町畑町１－１）学校図書館見学校

⑴　大会主題　「人をつなぐ・夢をはぐくむ・ことばをつむぐ
～子どもの学びをささえる学校図書館～」

⑵　大会日程

◎第１日　８月７日㈬　穂の国とよはし芸術劇場（プラット）
12：00～13：00　受　付
13：00～13：30　開会式
・開会のことば　・協議会会長あいさつ　・来賓あいさつ
・次期開催地あいさつ　・来賓紹介　・閉会のことば
13：35～14：30　報　告
・演題　「学校図書館の現状と課題」
・講師　公益社団法人　全国学校図書館協議会　理事
青山学院女子短期大学教授　堀　川　照　代　氏
14：40～16：10　記念講演
・演題　「読解力を向上させる読書活動と学校図書館改造プロジェクト」
・講師　京都女子大学教授　井　上　一　郎　氏
16：10～　分科会打ち合わせ
◎第２日　８月８日㈭　愛知大学豊橋キャンパス，学校図書館見学校
９：00～９：20　受　付
９：20～12：20　分科会（午前の部）
13：20～16：10　分科会（午後の部）
16：10～　閉会式

⑶　大会役員

役職名	所属・役職名	氏名
名誉会長	中日新聞社代表取締役社長	小出　宣昭
会長	東海地区学校図書館連絡協議会会長（愛知県学校図書館研究会長）	柴田　悦己
副会長	静岡県教育研究会学校図書館研究部部長（次期開催県）	岡田　克彦
	静岡県高等学校図書館研究会会長　（次期開催県）	棚橋　一之
	愛知県学校図書館研究会副会長	浅野　京子
	愛知県学校図書館研究会副会長	稲垣　考俊
	愛知県学校図書館研究会副会長（兼　大会実行委員長）	竹下　耕志
	中日新聞社文化事業部部長	垣尾　良平
顧問	公益社団法人全国学校図書館協議会会長	鈴木　勲
	三重県学校図書館協議会会長	小野　芳孝
	岐阜県学校図書館協議会会長	吉村　雅子
	名古屋市学校教育研究会学校図書館研究部会会長	首藤　太郎
運営委員	愛知県学校図書館研究会事務局長	水野　裕司
	静岡県教育研究会学校図書館研究部事務局長	大山　尚
	静岡県高等学校図書館研究会事務局長	内山　博之
	三重県学校図書館協議会事務局長	澤井　義和
	岐阜県学校図書館協議会事務局長	仁科智津子
	名古屋市学校教育研究会学校図書館研究部会事務局長	小田　閲子

(4)　大会実行委員会

実行委員長	竹下耕志（新城東高：愛知県学校図書館副会長）
副実行委員長	杉浦博人（大崎小：愛知県学校図書館理事）
事　務　局	山口武人（新城東高）　吉田正義（時習館高）　鈴木敏夫（新城東高）

(1)　研究部（部長：原田金彦　小坂井高）

係責任者（学校名）	大会実行委員
受付一般・来賓 中嶋　稔（三谷水産高）	村上知香子　鈴木清隆　山口幸志　鈴木淳夫　村松亜美　田嶌紗枝 松田百合子　金田祥子　岩崎あい
案内係 廣田幸生（豊橋西高）	松下弘　神山康晃　村田寛真　加藤直子　丹羽路枝　上田正江　宮下寛基 小野麻友美　夏目雅子
舞台進行係 藤田仁美（御津高）	村上憲弘　玉城雄也　夏目淑子　我妻仁子　山崎世志子　竹内なるみ 山本昭彦　足立幸子　大須賀純　飯田智美（司会：豊橋工業）
接待係 兼子知子（松葉小）	吉田正義　鈴木加代子　竹下真理　室井敬子　浦川りえ子　片桐かおる 加藤由希子　伊藤ゆきよ　石川正子　寺田淳子　伊藤雅子
ホール救護係 笹山悦子（明和高）	佐原浩子　河合知子　建部千恵　伊藤陽子　恩田稔　猪瀬隼也　杉浦玲子 中西志穂海　森映子　村田満　本田祥子　松下晃子
機材係 鈴木俊司（昭和高）	石原伸祐　太田泰将
駐車場係 大谷　登（蒲郡東高）	榎本聖也　宮林浩

(2)　運営部（部長：桂　伸安　豊丘高）

係責任者（学校名）	大会実行委員
会場責任者 佐原浩子（汐田小） 受付係： 河合知子（向山小）	豊田潤子　長谷川栄　大井さおり　白井理恵子　中神幸代　千葉薫子 野村由華　古谷美樹　中村圭子　大桑早紀子　山田香奈　白井香澄 夏目朱美　田中福子　塩野谷朱美　長谷川良太　青木浩子　田中克枝 大谷政代　中村亮一　保木井由佳　堀内眞佐子　古関智子　井東佐和子 渡辺晃子　伊奈裕子　村上憲弘　玉城雄也　夏目淑子　我妻仁子 山崎世志子　石田肇　山本昭彦　足立幸子　大谷登　大須賀純
記録係 渡辺真理（豊橋東高）	石黒めぐみ　平原美保　滝川志穂　坂口真知子　前田智子　梅崎弥生 山本佳代　渡邉のり子　寺田麻衣　井上文江　深谷菜々　大川麻由美 成瀬佐知子　近藤泰子　伊藤邦子　鈴木菊代　早川玲沙　藤井和代 森田悠一　酒井大輔　吉田康子　黒田洋子　岡本卓也　廣幡久美子 伊賀順子　竹内朝子
案内係 鈴木加代子（豊橋商高）	廣田幸生　松下弘　室井敬子　杉本敦子　岩月祐美　日比谷裕子　畔柳裕 安藤政子
駐車場係 鈴木清隆（成章高）	鈴木孝昌　山口幸志　曽我千春　杉田智美　末継真理子
接待救護係 島崎陽子（岩田小）	河合美津代　平松亜弥美　白井圭子　富安夏世　生田順一　鬼頭悦子 今泉育子
展示土産係 笹山悦子（明和高）	建部千恵　伊藤陽子　恩田稔　猪瀬隼也　杉浦玲子　中西志穂海　森映子 村田満　本田祥子　松下晃子
PC機材係 太田泰将（蒲郡高）	鈴木俊司　石原伸祐　宮林浩
弁当係 村上知香子（時習館高）	竹下真理　榎本聖也　鈴木淳夫

(3)　編集部（部長：渡部真理　豊橋東高）

係責任者（学校名）	大会実行委員（学校名）
録音係 竹内なるみ（田口高）	安田一郎
写真係 鈴木美智子（豊橋高）	福田真弓　安田一郎　石田肇
アンケート係 飯田智美（豊橋工業高）	竹下真理　榎本聖也　鈴木淳夫
研究紀要・集録係 渡辺真理（豊橋東高）	飯田智美　鈴木美智子　竹下真理　榎本聖也　石田肇　福田真弓

(5) 分科会役員

発表時間帯（A：9:20～10:40，B：11:00～12:20，C：13:20～14:40，D：15:00～16:10）

分科会		提案者・講師	司会者	記録者	会場責任者
小学校	A 1	林　容子（名） 石間　郁代（静）	川合佐代子	石黒めぐみ	豊田　潤子 長谷川　栄
	A 2	渡辺　昌澄（三） 滝　賢一（愛）	藤本　初美	平原　美保	中神　幸代 石川　正子
	B 1	餘舛　透子（名） 山本　弘文（愛）	戸塚実枝子	前田　智子	豊田　潤子 長谷川　栄
	B 2	小林眞由美（名） 大澤　弥生（愛）	河合　秀幸	梅崎　弥生	中神　幸代 石川　正子
	C 1	尾崎　敬子（三） 木村　剛大（岐）	堀田千鶴子	寺田　麻衣	大井さおり 白井理恵子
	C 2	長谷川麻優子（静） 山本　夏海（静） 蟇目　枝理（愛）	箕浦　龍一	井上　文江	野村　由華 古谷　美樹
	C 3	桂川こずえ（岐） 大河内潤子（愛） 恒川　里美（愛）	蔭山美穂子	深谷　菜々	山田　香奈 白井　香澄
中学校	A 3	植村　章代（名） 鈴木賀映子（静）	佐野　政紀	滝川　志穂	中村　圭子 大桑早紀子
	B 3	伊藤　瞳（岐） 山川　早苗（三）	内藤　典子	山本　佳代	中村　圭子 大桑早紀子
	C 4	中井　梨香（岐） 片野　栄子（愛）	川口　裕子	大川麻由美	塩野谷朱美 加藤　直子
	C 5	嶋津　智子（愛） 川地　晴代（愛） 芳野　史彦（三）	渡部　彰規	岡本　卓也	山崎世志子 竹内なるみ
特別支援	A 4	原　由布子（名） 阿部　雅野（静）	岡田　克彦	坂口真知子	夏目　朱美 田中　福子
	B 4	二宮由加利（三） 佐藤　久生（愛）	国保　明	渡邉のり子	夏目　朱美 田中　福子
高等学校	A 5	井口　繁和（静） 村田　蘭子（愛）	濱地　優	蘇我　千春	村上　憲弘 玉城　雄也
	B 5	森谷　浩一（愛） 森島　久典（岐）	川添洋一郎	黒田　洋子	夏目　淑子 我妻　仁子
ステップアップ講座	D 1	和田　明美	白井　豊	成瀬佐知子	大井さおり 白井恵理子
	D 2	砂川　誠司	河合　伸治	近藤　泰子	野村　由華 古谷　美樹
	D 3	阿部まゆみ	中村　慶子	伊藤　邦子 鈴木　菊代	青木　浩子 大谷　政代
	D 4	新井　洋行	高木佐知子	早川　玲沙	塩野谷朱美 加藤　直子
	D 5	案内者：村上知香子		廣瀬久美子	豊田　定功 村上知香子
	D 6	案内者：桂　三幸　島田美津穂 三嶋　将嘉		伊藤　順子	山本　昭彦 足立　幸子
司書向け講座	A 6	霜田美津子 鈴木　美希 竹内　美幸	竹本ゆりえ 鈴木　善江	藤井　和代	保木井由佳 松田百合子
	C 6	天野　由貴	吉田　正治	竹内　朝子	大谷　登 大須賀　純
情報活用能力講座	A 7	塩谷　京子	吉村　雅子	森田　悠一	古関　智子 井東佐和子
	C 7	塩谷　京子	伊藤　幸代	浦川りえ子	伊奈　裕子 寺田　淳子

⑹　分科会別提案内容と協議内容

講座Ａ２

提　　案　　「情報活用能力の育成を目指して」
～授業を豊かにするための学校図書館の活用～

一宮市立丹陽小学校
教諭　滝　　賢一

1　提案内容

⑴　研究のねらい

本校では，授業で図書館資料が活用されていても，百科事典や専門書が古くて足りなかったり，探しづらかったりしていた。そのため，図書館を利用しづらい状況だった。そこで，学習・支援センターとしての機能を整え，全校が図書館資料を活用した授業に取り組むことで，児童の情報活用能力を育成し，自ら考え，課題解決ができるような児童を育てたいと考え，実践を行った。

⑵　実践内容

①　学校図書館経営全体計画と学校図書館年間計画の作成

②　市立図書館や近隣の小中学校との連携

・自校にない本を市立図書館や，近隣の小中学校から借りるようにしている。市立図書館は，ネットでも予約できる。（100冊まで）

③　図書館司書との連携

④　図書館の環境整備

・図書館に分類記号を掲示した。子どもたちはそれを見て，資料を探すようになった。

⑤　学校図書館利用指導

・学校図書館利用指導計画に従って，図書館利用の指導を行った。３年生では10区分，４年生では100区分の配列などを学習する。

⑥　図書館クイズ

・図書委員がクイズを考え，図書館に掲示した。子どもたちは，図書館の資料で調べて答えを書く。

⑦　学校図書館年間計画に基づく授業実践

・４月の職員会議で，学期ごとに最低1回は図書館資料を使った授業をするように依頼した。学年ごと話し合いながら進めてもらった。

⑶　成果と課題

年間計画を作成したことで，全職員が図書館を利用しようという意欲が高まった。また，情報活用能力や調べる力も高まっているように感じる。学校図書館司書に各学年の利用指導を行ってもらったことで，子どもたちの情報活用能力を高めることができた。今後は，調べたことを文章に書く力を伸ばしていきたい。

2　質疑応答・協議内容

⑴　利用指導について，参考にする資料はありますか。

・一宮市でカリキュラムやワークシートを作成している。それを使ってやったり，学校図書館司書がオリジナルで作ったものを使ったりしている。

⑵　資料はどのように蓄積しているのか。

・国語科の作文等，あらゆるものをコピーして蓄積している。子どもたちの見本になっている。

司会者　名古屋市立船方小学校　藤本　初美
記録者　豊橋市立羽根井小学校　平原　美保

講座Ａ５

提　　案　　「図書館活性化への取組」
～親しみやすい・使いやすい図書館を目指して～

愛知県立蒲郡高等学校
実習教員　村田　蘭子

1　提案内容

⑴　研究のねらい

本校は昨年創立100周年を迎えた総合学科の高校で，将来の進路に応じて様々な科目から授業を選択できる少人数授業を行っているのが特色である。この特色を生かし，「親しみやすい・使いやすい」を目標に図書館運営に取り組んだ。

⑵　実践内容

①　図書館の電子化

開架図書について平成22年度より電子化した。閉架図書についても現在計画中である。

②　市図書館との共同企画

「高校生にもっと市図書館を利用してほしい」という市図書館からの要請を受け市図書館の展示スペースを使い，蒲郡高校展を実施した。総合学科ならではのユニークな授業で作られた美術作品，絵本，おすすめ本の紹介などを展示し，好評を得た。この企画では地域の人たちから温かい言葉をいただき，生徒にとって大きな励みとなった。また，高校での取り組みを地域に発信することもでき，実りあるものとなった。

③　生徒への働きかけ

プレゼント企画や，年間多読者の表彰を行う。それ以上に生徒との何気ない雑談が利用を呼び込む。積極的に職員側からコミュニケーションを取るよう心がけている。また図書館は職員不在時も常時開館し，セルフでも本の貸出返却ができる方式を採っている。

④　授業での利用

授業での図書館利用は，図書館に疎遠であった生徒が足を運ぶきっかけとなる。授業に役立つ本の紹介など協力をし，利用を働きかけている。現在，日本史や文学，児童文化，国語表現の授業等での図書館利用がある。少人数授業が多いため授業で利用しやすいようだ。

⑤　生徒の作品展示

総合学科の特色ある授業で作られた生徒の作品を常時展示している。展示することで生徒の意識が高まり，作品レベルは年々向上している。手作り絵本は特に人気がある。

⑥　図書委員の活動

委員会活動では展示・広報に特に力を入れている。週１度活動の広報委員を中心に，季節や行事を先取りしながら展示コーナーを作っている。また，全図書委員におすすめ本のポップ作成を義務づけ，本と共に並べている。温もりが伝わる手作り展示は好評である。

2　質疑応答・協議内容

⑴　田原市中央図書館ではヤングアダルトコーナーがあるが，利用が下火になっている。蒲郡市図書館のように地域の高校に呼びかけ，高校生の作品展を実施し，高校生の利用の呼び水にしたい。

⑵　職員不在の常時開館，セルフでの貸出返却で本の紛失はないのか？

現実には少しはあるが，生徒の利用を優先している。本好きの生徒ほど短い放課を使ってでも図書館に来る。そうした生徒はまず無断持ち出しはしない。守りに入ったら図書館の活動は活発にならないのではないかと思う。

司会者　三重県立白子高等学校　　濱地　　優
記録者　愛知県立豊田東高等学校　曽我　千春

講座Ｂ１

提　　案　　「本に親しむ生活を育むために」
～読書の喜びや感動を伝え合う～

額田郡幸田町立幸田小学校
教諭　山本　弘文

1　提案内容

⑴　研究のねらい

本校では，朝の読書タイム，ボランティアによる週１回の読み聞かせを行い，本に親しむ時間は多いが，本を友達に薦めたり，本の内容を話し合ったりする姿は見られなかった。様々な読み方，感じ方を発見すれば本により親しむであろうと考え，小学校３年生の児童で実践を行った。

⑵　実践内容

①　読書の喜びや感動を伝え合う場の設定や方法を工夫する。

ア　伝え合う場を設定する。

国語の時間や学級活動の時間などを利用して，「おもしろい本」「感動する本」「ためになる本」を取り上げ，本の内容のよさやおもしろさなどについて，小グループ内で交流したり，回し読みをしたりした。

イ　伝え合う方法の工夫

・材料を集めて整理し，伝えたい内容をより明確にした紹介文を書くのに有効なワークシートを準備したり，実際に読んだ本の気に入った登場人物，おもしろかった場面などをペープサートやパネルシアターで視覚的に表す。

・町独自で作成し，全小学校に配布している図書館ノートは本の紹介カードや読書記録を記入するページもあり，それらを使って本の紹介・読書活動の振り返りを行う。

②　様々な本に触れられる読書環境を整える。

ア　教師による本の紹介をする。

・教科の学習や季節，行事など，子どもたちの実態に応じた本を取り上げる。

イ　おすすめ本の紹介コーナーを設置する。

・教師や子どもたちからのおすすめの本や，学習に関する本などを紹介し，本を身近に感じられる環境を整える。

③　教科指導と関連付けた単元構成を考えて指導する。

国語科の物語教材の学習に続けて，関連する内容の本や同じ作者の他の作品を読む機会を設けた単元を構想する。

2　質疑応答・協議内容

⑴　今後の課題としている授業と結び付けた図書館利用指導とは，具体的にどういうことか。

国語中心になりがちなため，家庭科の裁縫や幅広い教科で利用されるようにしたい。それには，教員への情報発信・紹介も行っていく必要がある。

⑵　図書館ノートについて，具体的な内容とその活用の仕方はどうしているか。

毎年少しずつ改訂され，各学年に対応したもの。１年生では本の扱い方，３年生では公共図書館の配置図，高学年では調べ学習カードや本の紹介カード，読書記録，読書ゆうびんコンテストの手本や書き方などもあり，学習の時期に合わせて利用している。

司会者　浜松市立北浜南小学校　戸塚実枝子
記録者　豊橋市立汐田小学校　　前田　智子

講座Ｂ２

提　　案　　「読書を楽しみ，自ら学ぶ意欲をもてる子どもの育成」

江南市立宮田小学校
教諭　大澤　弥生

1　提案内容

⑴　研究のねらい

本校には，三つの図書館があるが，その一つが少人数教室として使用されるようになり，活用しづらくなってきた。そこで，「読書センター」としての充実と「学習センター」としての機能の再整備を通して，子どもたちの読書への興味や自ら学ぼうとする意欲の喚起を図っている。

⑵　実践内容

①　読書センターとしての機能の充実

ａ「図書館からの情報発信」とｂ「図書館へ足を運びたくなる仕掛け」を工夫した。

ａについては年度初めの図書館利用のオリエンテーションや推薦図書の紹介といった発信の他，低学年向けのアニマシオンの試みや学級文庫の充実に努めた。

ｂについては図書カードの活用・見直し・改訂を行い，学期に１回ずつ読書週間を実施した。

②　学習センターとしての機能の充実

ｃ「環境の整備」，ｄ「学習を補助する資料の準備」とｅ「授業支援」を行った。

・ｃとしては調べ学習で利用しやすい配架の工夫をし，さらに公共図書館の団体貸し出し制度を利用した。また，司書室の整備も行った。

・ｄはまず図書館利用の年間計画表の作成をし，図書館通信を発行して情報提供をする。特に読書感想文の書き方の指導に役立つ資料提供をして教職員のバックアップを行った。

③　さらに「学習センター」としての図書館活用に必要な事典の使い方や調べ学習の進め方について授業を行った。授業支援をより効率的に行うために図書館担当と学校司書との情報交換のための連絡ボックスを設置し活用した。

⑶　成果と課題

子どもたちの読書量が増加したこと。学校全体で図書館教育に取り組む機会を設けられるようになった。しかし，学校司書については保障がないので，連携については今後，大きな課題を抱えている。その一方で，現場では与えられた状況のなかでできることを考える必要があるだろう。「図書・資料を活用しやすい図書館」と「図書・資料を活用できる子ども」の育成をさらに目指したい。

2　質疑応答・協議内容

⑴　学校司書の研修体制はどうなっているか。

年に２回。ブックトークの仕方や，日常の活動内容について話し合うなど。

⑵　資料の準備の際，教師と司書の分担はどのように考えたらよいか。

・アイディアがあれば事前に司書から教師に投げかける。授業に合わせることが大切。

・学校司書は学習とどうかかわるかについての研修も増やしていきたい。

⑶　学校現場の先生は仲立ちの必要性はわかっていても，現状ではどうか。

・現場の教師と学校司書の温度差はある。学校司書と教師，図書館と教師の距離を埋めるコーディネーターとして，司書教諭の働きが大切。

司会者　沼津市立第三小学校　河合　秀幸
記録者　豊橋市立小沢小学校　梅崎　弥生

講座Ｂ４

提　　案　　「魅力ある図書館に向けて」
～環境づくりとその工夫～

愛知県立港養護学校
教諭　佐藤　久生

1　提案内容

⑴　研究のねらい

本校は，肢体不自由の児童生徒を対象とした特別支援学校である。児童生徒の７割が二つ以上の障がいを併せた重度の障がいがある。一人で本を読むことが難しい児童生徒のために，親しみやすい，魅力のある図書館づくりを目指した環境整備に取り組んだ。

⑵　実践内容

【学校図書館の環境づくり】

①　車椅子でも快適に利用できる安全対策

・本の落下防止のために落下防止バンドの設置
・東南海地震への備えとして，窓にガラス飛散防止フィルムを張る。

②　書籍の配架の工夫

・車椅子の視線に合わせて，できるだけ低い位置に配架。
・フェイスアウトできる書架で，季節感や新刊図書の紹介

③　見やすい図書の配置

・逆三角形の表示板で，低い視線からも見やすいように表示し，専門書は準備室へ配置。

【図書館の利用状況】

①　児童生徒の利用状況

・独自のコンピュータシステムによる貸出・返却手続きの簡素化，及び教室への移動図書

②　図書館利用の企画

・学校図書館の年間スケジュールの企画と「校内読書感想文コンクール」
・年２回行われる「図書館まつり」では，本を読まないとできないクイズや本の登場する食べ物の給食コラボメニューに興味・関心をもって取り組んでいる。
・ボランティアと連携した「お話し会」でお話の楽しさを共有

⑶　成果と課題

特に障がいの重い子どもが所属している特別支援学校で，障がいに応じた環境作りの工夫が必要である。どんな重い障がいを持った子どもでも，本を楽しむことができるよう，魅力ある図書館づくり，学習における主体性を生かす図書館活用を念頭に置いて取り組んでいきたい。

2　質疑応答・協議内容

⑴　落下防止バンドによる貸出への影響について

子どもたちの貸出の多い書籍については，下の段に置いてあるので問題はない。中・高等部の生徒は自分の手でとれるものはとるが，ほとんどの子どもは，教師引率の元に来るので，欲しい本をとってもらえるので不便さはない。

⑵　図書の配置について

縦６ｍ，横10ｍの広さなので，小学部と中・高等部と別の設置はできない。児童10名ほどでも，車椅子でのすれ違いが難しい。医療的ケアーが学校でできるようになったので，読むことも見ることもできない子が本を楽しめるように工夫している。

司会者　愛知県立岡崎養護学校　国保　　明
記録者　豊橋市立下条小学校　　渡邉のり子

講座Ｂ５

提　　案　「普通科高校における図書館活動についての報告」
～図書館利用の拡大をめざして～

愛知県立大府東高等学校
教諭　森谷　浩一

1　提案内容

⑴　研究のねらい

普通科高校の生徒たちに読書の機会を提示し，国語力の向上とともに読書の楽しさを理解して欲しいとの思いで，生徒図書委員会活動の活性化を促した。

⑵　実践内容

①　生徒図書委員会活動の活性化

・平成24年度より図書管理システム「Noah2000」を導入し，図書の貸出・返却を電子化した。図書委員による手続きや未返却図書の請求を実施。
・広報活動として「図書館だより」を，学期に２回発行。新刊図書の紹介など図書委員中心に編集し，教員の推薦本を紹介した。「図書館報」は，教員へのインタビューなどを通して読書の楽しさや大切さを紹介。
・新刊，ベストセラーの図書や話題性のある図書の展示などについてのコーナー設置した。
・図書館内での催事の企画を行った。学校祭の文化発表会で委員会活動としての発表を実施している。2008年の不思議の国のアリス，2009年の世界遺産古代ローマの遺跡，2011年の龍馬伝～坂本龍馬などをテーマに早くから計画をし大筋をまとめておくなどの工夫をして，ペーパークラフトの作品や関連の図書を紹介。

②　朝の読書

平成24年度末より１年生で実施。本年度は１・２年生で実施した。

③　総合学習での取組

３年生の総合学習でお気に入りの本の紹介とプレゼンテーションを実施。クラス全員が一人１分間で黒板を利用しながら本を手に持って内容を紹介。クラスごとの人気の書名を３位まで発表。

⑶　成果と課題

①　高校生の読書離れは，簡単には解消されない。だたし，こちらの働き掛け次第で，劇的に変化する場合がある年代でもある。まず，生徒自身が興味を持てる場面を多く設定してやりたい。広報活動の一つである「図書館報」は，本音のトークが飛び出し好評だった。朝の読書は遅刻を減らし，読書に対する前向きな姿勢を育てた。新しい企画「読み聞かせ」にも取り組み，継続していきたい。

②　大型絵本の購入やポップの作製，朝の読書の定着，他の生徒に紹介する楽しさが得られるプレゼンテーションなど図書委員会活動の活性化につながる。

2　質疑応答・協議内容

⑴　お気に入りの本の紹介で事前に使ったワークシートについて教えてほしい。
雛形を教えるので活用してほしい。

⑵　「読み聞かせ」をする前に聞くプロの人の朗読はどんなものか。
用意してもらったものをまず，聞かせている。

⑶　朝の読書での協力態勢はどのようか。
学年の企画により発足した。無理のないよう，教室に出向く教員の数を少なくしている。

司会者　愛知啓成高等学校　　川添洋一郎
記録者　愛知県立松平高等学校　黒田　洋子

講座Ｃ２

提　　案　　「進んで追究し，自分の言葉で表現する子の育成」
～６年　理科「体のつくりとはたらき」の実践を通して～

豊田市立堤小学校
教諭　蟇目　枝里

１　提案内容

⑴　研究のねらい

図書資料を活用した調べ学習の「調べる」段階から「伝えよう」と意識化することで，主体的に学ぶ楽しさを実感させたいと考えた。

⑵　実践内容

①　本校の図書館運営の実態

ア　たくさんの本との触れ合いの場の設定

イ　毎週の読み聞かせボランティアの活動

ウ　図書委員のアイディアを生かした活動

エ　各学年で図書館活用年間計画の作成と館内に調べ学習コーナーの整備

②　教科指導（理科）における図書館資料の活用実践

ア　研究の手立て

学校図書館司書と連携して資料準備をした。また，館内に健康コーナーを設置したり，テレビ番組の作成を行ったりした。

イ　研究の実際

運動後の体の変化について見つけたことを，「ミッション」として調べる課題にし，インターネットや図鑑，デジタル教科書等で調べた。予想→実験計画→実験→結果→考察→さらなる疑問→次の課題，という流れを作り，問題を自分で解決している実感を持たせた。学習を進めながら資料集めを行い，一人一人資料ファイルにためていった。

自分で作った資料ファイルと教師側から用意した資料をもとに，家族に体の悩みを解消する健康法をテレビ番組で紹介する原稿を書かせた。モデル文を示し，現状→原因→体のつくり→解決法→おわり，の順で相手を意識し納得させる流れで書くようにした。

⑶　成果と課題

健康コーナーの設置で資料が充実し，目標の設定をすることにより主体的に学べた。人体図にまとめたり，集めた資料をテレビ番組で発表したりする中で，説明，発表方法の工夫が見られた。子どもたちが集めたり作成したりした資料を加え，情報センターとしての図書館の整備を進めていきたい。

２　質疑応答・協議内容

⑴　司書はどのような形での勤務か。

２名の司書が低学年（週１回），高学年（週２回）と分担し，図書整備や資料選択をしている。

⑵　どのくらいの時間数で行ったのか。

理科では13時間の単元。ミッション作り，調べ学習に10，テレビ番組作りで約10，学活で１，家庭科で５，６時間。

⑶　多くの疑問をどのようにまとめたか。

多数出た疑問の３つについては全員で追究，その後は各自で調べた。まとめの段階では，人体図を使用。補足や実験は別のワークシートにまとめていった。

司会者　四日市市立中央小学校　箕浦　龍一
記録者　豊橋市立細谷小学校　　井上　文江

講座Ｃ３

提　　案　　「児童生徒の読書の質を高めるために」
～他校での取組を取り入れて～

大府市立神田小学校
教諭　恒川　里美
大府市立北山小学校
教諭　大河内純子

1　提案内容

⑴　研究のねらい

大府市中央図書館が平成22年度に市内全小・中学校で行った読書量調査の結果，小学校高学年から中学生の読書量が少なく，不読者数も多いということがわかった。そこで，各校の実践を情報交換し，それを参考にして，より魅力的な図書館運営を工夫する取組を行った。また児童生徒の読書の質を高めるために読書の幅を広げる取組を行った。

⑵　実践内容

①　平成23年度の実践（１年目）

・市内13校の図書館担当者にアンケートを実施して，結果をもとに情報交換を行った。情報交換の場を有効に活用し，他校の取組を取り入れた実践を行った。

②　平成24年度の実践

・各学校の実践記録をまとめ，全小中学校に配布した。
・家庭読書とブックトークを全小中学校で行った。家庭読書も継続し，実施率が上がった。
・ブックトークの実践の前に講習会を行った。ブックトークの定義・組立・心がけること等を学んだ。研究授業では「平和」をテーマに学習した。「一つの花」の読み取りを行った後，子どもたちがテーマにそった本を選び，ブックトークを行った。

③　本年度の実践

・市内統一実践として，家庭読書とブックトークに取り組んでいる。
・読み聞かせ講習会を実施し，絵本の選び方などを教えてもらった。

④　その他

・大府市中央図書館主催の出前読み聞かせ講座

⑶　成果と課題

市内の全小中学校に実践記録を配付し，新たな実践や他校の取組を取り入れた実践などを多くを共有できた。家庭読書は市の幼保児小中連携事業の活動と重ねたことが功を奏した。

2　質疑応答・協議内容

⑴　家庭読書は具体的にどのようにおこなっているのか。

大府市では幼保児小中連携事業の中にノーテレビ・ノーゲームデーを設ける他に，「きらきらチャレンジウィーク」という取組がある。そこで家族読書に取り組んでもらうように，プリントを作成・配布している。家の人の読み聞かせや交代読み，めいめい読み，感想を話し合うなど様々なやり方を紹介している。児童は感想を書くほか，中学校では，課題として取り組んでもらうようにもしている。

⑵　全市で取組を始めた理由は何か。

自分の学校だけの取組では限界がある。市全体として取り組むことで成果があがると考えた。

司会者　名古屋市立白水小学校　蔭山美穂子
記録者　豊橋市立牛川小学校　　深谷　奈々

講座Ｃ４

提　　案　「豊かな心と学ぶ意欲を育てる学校図書館」
～豊川市マイブックプロジェクトの実践を通して～

豊川市立東部中学校
教諭　片野　栄子

1　提案内容

⑴　研究のねらい

豊川市は平成24年度，子どもの読書推進を図るために，「マイブックプロジェクト事業」をスタートした。マイブックプロジェクトの実践報告と，購入された本を使った授業実践について提案する。

⑵　実践内容

①　豊川市マイブックプロジェクト

ア　マイブックプロジェクトの経緯と方法

・平成15年に豊川南部中でPTA会費やバザーの収益金を使って始めたのがはじまり。
・市内の中学２年生1800人を対象に，1500円分の図書カードを配布して，好きな本を市指定書店にて購入する。朝の読書などを利用して購入した本を読む。読み終えたら紹介メッセージをつけ，学級文庫に入れ，仲間と読み合えるようにする。

イ　市内中学校での実践

・西部中：選書しやすくし，学級内で同じ本を購入する生徒をつくらないようにするためにおすすめ本リストを用意した。

②　マイブックを使った授業実践

ア　「本の帯」を作ろう

・本にとっての帯の役割を考えさせてから構想を考える。中間発表会を設け，清書前に練り直しをした。鑑賞はギャラリートーク方式で行った。帯は本を選ぶ上で大きな役割を担っていると気づくことができた。

イ　「パートナー読書」をしよう

・パートナーと同じ本を読み，意見を交流し合う。

⑶　成果と課題

本を読むことに親しみを感じられるような場の設定がされている。教師側のきめ細やかな支援によって生徒一人一人が興味をもった本を購入することができるようなった。こうした実践を積み重ねることで，本を読み豊かな心と学ぶ意欲を高めることにつながっている。

2　質疑応答・協議内容

⑴　パートナー読書をするにあたってどのような問題があったか。

問題点よりも，得られたものが多くあった。パートナーがいることで，読む意欲を高めやすいし，意欲が高いまま読み続けることができる。

⑵　マイブックを全生徒に購入させるために，どのような支援が有効か。

生徒に活動内容や目的，購入手順を早くから伝えること。購入する本を決めやすくするために，本のリストを提供すること。本を購入する前に購入希望の本を考えさせる時間を設けること。

司会者　三重県教育委員会小中学校教育課　川口　裕子
記録者　豊橋市立二川中学校　大川麻由美

講座Ｃ５

提　　案　　「地域との連携をめざした図書館運営」
～中学校の活動を通して～

瀬戸市立水無瀬中学校
教諭　嶋津　智子
瀬戸市立光陵中学校
教諭　川地　晴代

1　提案内容

⑴　研究のねらい

瀬戸市内の小中学校の図書館には，平日に児童生徒が利用する学校図書館としての役割と，土曜・日曜・祝日に瀬戸市民に開放される地方図書館としての役割の二つがある。小学校に比べ，中学校は公立図書館との連携を進める上での障壁が大きく，なかなか進まない。そこで，中学校でも地域との連携を深め，より身近な図書館にするべく市立図書館との連携を行った。

⑵　実践内容

①　地域図書館との連携による利点

ア　実質的な蔵書数が増加

イ　市立図書館司書の派遣

②　具体的な実践

ア　月一回，委員会開催日に合わせて市立図書館司書を派遣してもらい，昼休みから委員会活動まで図書館に常駐する。委員会活動時には図書委員の指導にも携わる。

イ　昼休みに来館した生徒を対象にして司書による読み聞かせ・ブックトークを行う。さらに読み聞かせに関連した本を用意してもらい，生徒はその場で手に取ることができる。

ウ　司書にデータ入力，廃棄，図書の修繕など蔵書管理に関わってもらう。

エ　生徒へのアンケート結果を反映した図書を市立図書館から学級文庫へ配架する。

⑶　成果と課題

・地域の「俳句の会」の作品を紹介するコーナーも設けられ，これを契機に地域とのつながりも増やしていきたい。
・小中学校を地域図書館化するための問題点はいろいろあるが，地域と連携することで学校図書館が得るメリットは大きい。

2　質疑応答・協議内容

⑴　町村の合併や統廃合が進む中，「開かれた学校」としての地域図書館は有効だと考えられる。

⑵　学校図書館と市立図書館のデータの管理はどうなっているか？

・連携を見据えて学校図書館を市立図書館のデータ入力方式に揃えた。

⑶　学級文庫に市立図書館の本を入れた際，紛失等の問題点はなかったのか？

・身近な場所にいつでも手に取れる本がある状態を目指している。図書館長も了承してくれたので，データは市立図書館で管理はするが，破損・紛失は見ていない。
・教員の負担増などはなかったが，生徒指導上などの点から反対もあった。メリットをアピールしていく努力は必要だと感じる。

⑷　購入予算と図書の選定について

・学校と市は別であり，学校図書の選定については学校が行っている。

司会者　岐阜県教育委員会学校支援課　渡部　彰規
記録者　愛知県立足助高等学校　岡本　卓也

講座Ｄ３

提　　案　　「小中学校図書館支援」
～教師の授業支援と児童生徒の学習支援～

豊橋市授業・学習支援センター
コーディネーター　阿部まゆみ

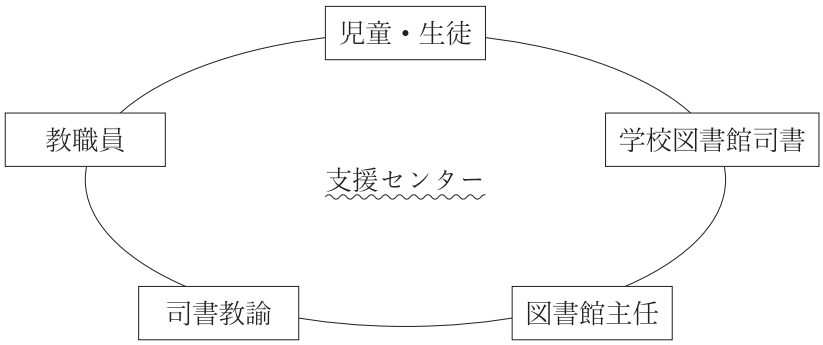
１　提案内容

⑴　研究のねらい

授業・学習支援センターは，教師の授業づくりと子どもの学習両面への支援を設立目的として生まれた組織である。また市内74校の小中学校の授業・学習支援だけでなく，公立図書館や博物館との連携も図っている。

⑵　実践内容

①　つなぐ・ひろげる



支援センターは，上記の五者，それぞれへの支援とともに，五者間のより強い連携にも役立てることを目指している。

②　機能

支援センターには，①の充実を目指し，以下のような機能がある。五者の活動がよりよいものとなるように工夫している。

ア　授業づくりなどに関する相談活動や情報提供
イ　図書や資料の管理
ウ　公立図書館から学校，または学校間の図書貸し出し支援
エ　支援センターだより発行やホームページの更新などの広報活動

⑶　成果と課題

支援センターの活動には，今後の課題として次のことが考えられる。

①　教職員の意識向上
②　利用しやすいシステムづくり
③　諸機関との連携強化

課題克服に向けて，これからも日々，努力を重ねていきたい。

司会者　豊橋市立天伯小学校　　中村　慶子
記録者　豊橋市立中野小学校　　伊藤　邦子
　　豊橋市立高師台中学校　鈴木　菊代

見学Ｄ３

提　　案　　「学び方を身につけ，すすんで本を活用する子の育成」

豊橋市立福岡小学校
教諭　鳥居貴代美

1　提案内容

⑴　研究のねらい

本校図書館は，学校図書館司書やボランティアの方々の力を借りながら，特に学習支援に力を入れ，日々の授業に役立つ図書館運営を目指している。学習支援の中でも最も重点をおいているのが「各教科の指導」である。

⑵　実践内容

①　発展読書

各教科・各単元に関連する本の紹介や読み聞かせをする。本の紹介は，声をかけたり，入館時に自然に視覚に入るよう工夫し，子どもが選びやすくなるように心がけている。

また各学級の授業について関連する本を具体的に紹介する。

②　調べ学習

調べ学習では，他図書館からも借り受けている。借り受けた図書用にブックトラックを各学年２台用意している。借り受けは図書館担当者が行うが，返却は授業者が行うなど，無理のない範囲で授業者の協力を仰いでいる。

案内者　豊橋市立福岡小学校　鳥居貴代美
記録者　豊橋市立中野小学校　伊藤　邦子

見学Ｄ３

提　　案　　「『生きる力』と『豊かな心』を育む魅力的な図書館をめざして」

豊橋市立南部中学校
教諭　大谷　政代

1　提案内容

⑴　研究のねらい

本校は，普通教室と図書館が離れた棟にあり，気軽に利用しにくい環境にある。そこで，本に親しむことで感動する心を育み，各教科全体の学習を支援する場となることを目指し，以下のような具体的実践を行っている。

⑵　実践内容

①　読書に親しむ工夫

・配本サービス―読みたい本の個人配達システム
・新着図書案内を各教室に掲示

②　学習支援のための工夫

・総合的学習への支援―調べ学習用第2図書室の設置
・各教科担当者の要望に素早く答える

③　図書館経営・ボランティアとの連携

・蔵書の配架とサインの工夫― 4 ケタ分類番号の採用
・ボランティアによる館内設備の充実

2　質疑応答・協議内容

⑴　各教科の利用について

利用は国社，総合に傾いている。全教科での利用を目指していきたい。そのため，テーマごとの別置をすすめている。

案内者　豊橋市学校図書館司書　長坂　秀子
記録者　豊橋市立高師台中学校　鈴木　菊代

見学Ｄ５

提　　案　　「読書の幅を広げる図書館の取り組み」

愛知県立時習館高等学校図書部

1　提案内容

⑴　研究のねらい

本校の図書館では，４万５千冊余の書籍，２千枚近くのＣＤの他「時習文庫」等の蔵書もある。勉学や部活動に忙しい生徒に，本を手に取るきっかけを与えるため，様々な取組を行っている。

⑵　実践内容

①　図書館内での取組

ア　テーマを設けた図書の展示（特集図書）

イ　週替わりの図書の展示…分類番号順に10冊ずつ選び，幅広いジャンルの図書を紹介。

②　校内での取組

ア　推薦図書文庫50選　推薦図書新書・評論50選

イ　図書情報版…「新着図書の紹介」，「図書館からのお知らせ」，新聞・雑誌の記事，空想科学図書館通信，展示図書のリストなどの掲示。

ウ　読書指導…１・２年生を対象に，学期ごとに課題図書を選び，持たせる。

エ　学級文庫…クラスごとに20冊程度の本を選び，籠に入れて図書委員に運ばせる。

③　教科との連携

ア　課題・参考図書の選択…各教科の課題で使用する図書のリストを作成する。

2　質疑応答・協議内容

⑴　電子書籍は生徒たちに普及しているか。

・まだそれほどは利用していない。

⑵　新着図書は年間にどれくらい入るか。

・500冊程度で，毎月入れている。

記録者　愛知県立豊田工業高等学校　廣幡久美子

見学Ｄ６

愛知大学豊橋図書館事務課
課長　桂　　三幸

1　レクチャー

愛知大学の図書館は東亜同文会の蔵書の寄託を受けてスタートした。「霞山文庫」等古い資料・蔵書が保管されている。蔵書の老朽化に対処するため，電子化も進めている。

2　見学

⑴　閉架書庫

４階建ての書庫には所狭しと保管してある蔵書類にはここにしかない貴重な資料もある。学生はガイダンスを受けて利用カードを持つ人のみ，利用できる。

⑵　開架スペース

本の閲覧，貸出以外にもインターネットが利用できるメディアゾーン，グループ学習用スペースのラーニングコモンズなど学生のニーズに合わせ利用できるようにしている。

3　質疑応答

⑴　蔵書点検はどうしているのか。

一度にはできない。数年かけて順次行う。

⑵　図書の廃棄はどうしているのか。

本は大学の宝である，という考えに基づき，　基本的には廃棄をしない。

記録者　愛知県立猿投農林高等学校　伊賀　順子

⑺　記念講演要旨

演　題　**「読解力を向上させる読書活動と学校図書館改造プロジェクト」**

講　師　京都女子大学　教授　**井上　一郎 氏**

1　読解力を向上させる学校図書館へ

新学習指導要領には「児童の思考力・判断力・表現力を育む観点から基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視」とあるが，この実現は難しい。新学習指導要領には続けて「必要な言語環境を整え，児童の言語活動を充実すること」とある。そのために「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り」とあるが，そこへなかなかつながらないので，「児童の主体的意欲的な学習活動や読書活動を充実する」ためには学校図書館を改造する必要がある。

児童生徒の主体的学習はまず一つの疑問を持つことから始まる。抱いた疑問についての答えを見つけるため，本を読んだり，資料を調べたりする活動が必要になるわけだが，学力・読解の力がなければ本は読めない。日本の児童・生徒の読解力を向上させるために学校図書館を改造して欲しい。

私は学校図書館を変えるために「学校図書館七段変革活用絵巻物」と名付け，ランク付けを試みた。「行きたくない」段階から「行きたい」・「行けば」・「行こう」・「行ったら」・「行く行く！」へ変革していくための七段活用である。三段活用まではなんとかできそうだが，その次の段階へ行くには，意識の変革と協力が必要になる。

2　日本の子どもに足りないもの

図を見て「～について，わけ（理由）を説明せよ。」という問いに答える問題に対し，わけ（理由）を説明しなさいという指示に応えられていない。ここから考えられることは，子どもたちの思考・判断力が下がっているということだ。本を読んでもそのまま鵜呑みにして，写しているだけで思考力をきちんと養っていない。

もっと自分で考えて生涯学び続け，どんな環境でも答えのない問題に最善解もしくは複数解を出せる力を育成しなければならない。そのための図書館を作っていく必要がある。

3　図書館を使った授業

日本の教室には机があり，自分の座席に座って，黒板に向かう。教室の中で教科書と副教材を使って済ませる授業であったり，図書館とつながりがないと考えている教科があったりするが，そうした日本の授業形態を変えて欲しいと思う。

例えば，ニュージーランドの学校では教科書がない。教科書の代わりに片っ端から本を読んで課題をこなす。どれだけでも読む。子どもたちは本やノートを入れる箱を各自でもって移動し，グループで学習を行う。

フィンランドでは，アクティブラーニングという調べ学習をする。人々は週に一回は図書館に行く。10万人当たり22館の割合で存在しており，コンビニエンスストアと同じくらいの割合である。ショッピングモールの上にあったりして，買い物ついでに図書館へ立ち寄ったりする。ちなみに日本では10万人に２館である。

図書館を使った授業を実現するには，どの教科でも「本を読むのが当たり前」「図書館に行くのが当たり前」になるようにする。そのためには図書館で週に一回は必ず授業をする，各教科で図書館へ行くカリキュラムを相談する，という取組を学校を挙げてしてほしい。授業中に図書館へ行く行列ができるような図書館にすること。それは調べたいことが直ぐに調べられる図書館であり，求めること

が直ぐ手に入る図書館である。

4　困難と課題

本を活用した授業の困難として次の 4 点が挙げられよう。

1　運営上の困難
2　テキスト選択の困難
3　読解力の困難
4　評価の困難

「図書館を活用した授業を」には子どもたちの「本を読む自由を保障する」という基盤がなければならない。この基盤こそが，自主的な学習活動を支えるものであり，生涯において学びつづけることができる人間の育成のために不可欠だからだ。本を読む自由を保障するものとして以下の11項目が考えられる。

1　本を買う経済基盤
2　読む生活環境と時間的余裕
3　メディアとしての本の知識の習得と活用
4　多様なテキストの種類の知識と活用
5　読書目的に応じた選書方法の知識と活用
6　学校図書館，公共図書館，文化施設の利用方法の知識と活用
7　読書プロセスの知識と活用
8　コンプリエヘンション　ストラテジーの知識と活用
9　読書アクティビティの知識と活用
10　読書アクティビティの評価と反映の知識と活用
11　読書生活の構築の知識と活用

3 以降の項目は基礎的な知識が無くては手に入らない。学校で教えることが求められる。図書館を使った授業をするということは，本を読む自由を保障する知識と技術を身につけさせることにつながる。

5　まとめ

これまでの話の中で見てきたように，ニュージーランドやフィンランドでは文化として本を読むのは当たり前と捉えているのに対し，日本では学年が進行するほど読書量が減少する。最近の調査では小学生の平均読書量は 6 ～ 8 冊／月，中学生は 1 ～ 2 冊／月，高校生は 0 ～0.5冊／月である。学習の内容やレベルを考えれば，高校生になるほど本を読まなければならないはずである。この状況を放置してはいけない。本を読まなければ分からない授業へと変革していかなくてはならない。新学習指導要領では各教科における読書活動が示されている。

私は次の提案をしたい。それは学校図書館ではなく「の」を入れた学校の図書館にすることである。学校の図書館は

1　児童・生徒のための運営と取組をする。
2　カリキュラム全体及び各教科との関連を持たせる。
3　本が移動する（活用されている）図書館にする。
4　児童・生徒が絶えず滞在する場所にする。
（読む・調べる・学習する・協議する・おしゃべりするーいろいろな者が滞在する場所にする）

抱えている問題に地域差はあろうとも，まずお金を掛けずにできる改造にチャレンジして欲しい。

（文責：編集部　渡辺　鈴木　福田　村上）

実 務 講 習 会

⑴ 三　河　部

ア　東三河

東三河地区では，４つの郡市において，実務講習会が実施された。

豊橋市では，ＮＰＯ法人・日本アニマシオン協会理事長の黒木秀子氏を講師に迎え，アニマシオン勉強会を行った。「エーミールと探偵たち」を予読し，実際にアニマシオンのワークショップを行い，アニマシオンの意義や効果について分かりやすくお話していただいた。実際にいくつかのアニマシオンを体験できたことも参考になり，今後に活かせる内容ばかりだった。

豊川市では，岡崎市学校図書館指導員の山本伸氏を講師に迎え，読書感想画の描き方指導について研修を深めた。たくさんの作品を見せていただき，指導の手順やポイントを具体的に教えていただいた。選書の大切さ，出合い後の対話，話し合いを通じてのイメージ作りなどのお話を聞き，すぐに取り組みたくなるような内容の研修だった。

蒲郡市では，学校図書館を考える会豊橋・あいちの竹本ゆりえ氏を講師に迎え，「学校図書館のできること」と「子どもと本を結ぶ読み聞かせ」についてお話していただいた。学校図書館がとても重要な役割を果たしていることや教員にできることはまだまだあるということを痛感した。図書館のブックパートナーの方にも参加していただき，意見交流を行うことができ，有意義な研修となった。

田原市では，中央図書館の見学と活用方法について研修した。司書さんからお話を聞いたり，図書館探検隊などの公共図書館が行っている活動を紹介してもらったりし，今後の学校図書館と公共図書館の連携について考えることができた。

イ　西三河

西三河地区では，６つの市において実務講習会が実施された。

豊田市では，聖カタリナ大学短期大学部保育学科助教の小幡章子氏を講師とし，「生きる力を育てる読書支援」をテーマに，小学校への読書支援，思春期の子供たちへの読書支援について，講演を聴いた。小学生，中学生に適した本の紹介や，読み聞かせなどによる子供への本の橋渡しの必要性などの話は，今後の読書指導に大いに参考になる内容であった。参加者からは，「『ぴったりの１冊』に出会わせることができるように，自分も読書をしていきたい。」という感想も寄せられた。

西尾市では，神奈川県大和市教育委員会学校図書館スーパーバイザーの藤田利江氏を講師に迎え，「調べ学習」について講義を受けた。そしてその後，実際に用意された図書を使い，調べ学習の模擬授業を行った。講師の先生から具体的な調べ方，まとめ方などを教えていただき，参加者からは「いつも写すだけだったが，順序立てて行うと，理解も深まって，発表もわかりやすかった。」などの感想が聞かれた。

安城市では，安城市中央図書館司書の別府奈緒美氏を講師に迎え，本が届いてからの作業や補修について講義を受け，実際にブッカーのかけ方の実技研修を行った。図書主任だけでなく学校司書や図書ボランティアなど多数が参加され，本の注文から受入れの仕方の話は，参考になったと参加者の感想から伺えた。実技研修ではきれいな装丁された本を手にし，実り多い研修を実感した。

刈谷市では，本年度導入された新しい図書システムの運用について，現行のものとの変更点や大まかな操作説明を，業者よりプレゼンテーションを受けた。さまざまな作業や処理について説明を受け，「今までより負担が，かなり軽減されるように感じた。」と参加者からの声が聞かれた。

碧南市では，各学校の読書活動や図書委員会の活動などの取り組みについて現状を報告し，話し合いがもたれた。参加者からは「他校の取り組みがよく分かり，今後の活動に生かそうと思った。」「朝の読書や市民図書館の本について話し合うことができ，学校や市民図書館への協力のお願いを確認できた。」などの感想が集まった。

岡崎市では，岡崎市立岩津中学校教諭の鈴木孝司氏を講師とし，学校図書館の掲示物のポップ

作りの講義と実技を行った。実際に掲示物を作製した参加者からは，「すてきなポップができて楽しかった。作っている自分も，図書館に来る子供も楽しくなるよい研修だった。」「１，２時間でできる内容で，授業でもやってみたい。自分のおすすめの本を紹介したりして，読書の輪を広げていけたらと思う。」などの感想が寄せられた。

⑵ 尾　張　部

ア　稲沢地区

期　日……平成25年10月21日㈪

会　場……稲沢市立稲沢北小学校

内　容……元一宮市立西成東小学校長　森　美穂　氏による指導助言

平成23年に愛知県学校図書館研究会会長として活躍されるなど，長年，愛知県の学校図書館教育をリードされている森美穂氏を講師としてお迎えし，子どもとつくる利用しやすい学校図書館をめざす研究実践を踏まえ，主に以下の三つの指導助言をいただいた。

第一に，学校図書館が子どもと本をつなぐ方法である。読書が趣味を超え生活の一部であるという生涯学習者を学校で育てるためにも必要なことである。そのために図書館に足を運ぶ時間と場をきちんと設定する。小学校低学年なら一日一回，高学年でも週一回は足を運ばせる機会を確保する。中学校でも調べ学習で図書館を利用させる。第二に読み聞かせの可能性である。子どもを本好きにする最も効果的な方法は読み聞かせであり，指導者は「いつでも・誰でも・どこでも」できる姿勢で臨みたい。読み聞かせで聞く力が育ち，学校も落ち着く。絵本は中学生も惹きつける。読み聞かせを通し，読んでもらう立場から読む立場へと子どもは自然に導かれる。第三は稲沢の図書館教育の特長を生かす。本のデータを指導者が入力することにより，本そのものがよくわかり，個人カードは子どもの読書傾向がすぐ把握でき実態に即した指導ができる。最後に，子どもを参画させ，子ども主体の図書館をつくる稲沢の学校図書館の今後の取り組みに更に期待したいと力強いエールをいただいた。

イ　知多地区

期　日……平成25年５月24日㈮

会　場……知多市立中央図書館

内　容……千葉県柚ヶ浦市立総合教育センター　中村伸子氏による「調べ学習」についての講習会

中村伸子氏を講師として迎え，「調べ学習のステップ」と「調べ学習の支援ポイント」についてお話いただいた。支援ポイントでは，子どもが調べたい内容を会話から引き出していく方法，資料や情報の収集の仕方，記録・整理の仕方についてお話を伺うことができた。さらに，支援ポイントの一つとしての「インタビューの仕方」について体験しながら研修を行った。

大変具体的で分かりやすく，今後各教科領域の学習で役立てていきたいという感想が多く聞かれた。

期　日……平成25年８月２日㈮

会　場……半田市図書館

内　容……愛知県図書館　山田肇子氏による「ブックトーク」講習会

山田肇子氏を講師としてお招きし，「読書の楽しさを伝えるためのHow to ブックトーク」と題して講習会を開催した。ブックトークの基本と実演までの準備や流れを学び，さらに，ブックトークの実演を見ながら朗読の仕方や読み聞かせの間の取り方，子どもたちを惹きつける秘訣などについて研修した。また，子どもたちにもできる「ブックトーク」の本の紹介もあった。

今回学んだ「ブックトーク」を実践することで，子どもたちにいろいろな本に触れる機会を増やさせ，読書の楽しさを伝えたいという意欲の高まる講習会となった。

⑶ 高　校　部

高校部会は，県立（名瀬・尾西北・東三河・西三河・知多）と名古屋市立・私学を併せた７つの地区と司書部会で組織されている。県立学校の５地区には特別支援学校27校，国立（高専含む）３校および豊田市立養護も含み，今年度の総数は247校となった。

当会の研究活動は，「総会」・「司書部夏季研究会」・「実務講習会（図書館講座）」のほかに，以下にまとめた各地区の研究会があり，いずれも質の高い研究内容を保持し，各学校図書館の運営に寄与している。

１　高校部会としての活動

○総会と講演　６月７日㈫　刈谷産業振興センター

報告　「学校図書の選書論」　　講師　椙山女学園大学　文化情報学部　教授　山本　昭和氏

○実務講習会　第10回学校図書館講座　11月22日㈮　愛知県図書館

①　「毎月の特集・展示」　　講師　愛知県立長久手高等学校　司書　青山　　恵氏

②　「学校図書館とジェンダー，アーカイブス」

講師　愛知県立碧南高等学校　教諭　今村　浩一氏

２　各地区研究会の活動

○名瀬地区

①　総会・第１回研究会　グループ別研究協議　６月19日㈬　愛知県図書館

②　第２回研究会・夏季司書部会研究会　７月30日㈮　愛知県立旭野高等学校

・全体会　「ブックポケットをつくってみましょう」　司書部

・講演　　「ビブリオバトルについて」　　岡野ひろゆき氏（名古屋学院大学商学部教授）

③　第３回研究会　12月３日㈫　愛知県図書館

・講演　「翻訳と人生」　　亀山　郁夫氏（名古屋外国大学長）

○尾西北地区

①　総会・第１回研究協議会・特別支援校代表者会　６月25日㈫　江南高校

・講演　「一宮市立中央図書館の紹介とその役割～学校図書館とその連携～」

講師　一宮市立中央図書館 館長　　杉山　弘幸氏

②　第２回研究協議会　11月26日㈫　椙山女学園高・中図書館

・椙山女学園高・中図書館の見学・質疑応答

・研究協議，情報交換

○西三地区

①　第１回研究会　６月28日㈮

独立行政法人国立高等専門学校機構豊田工業高等専門学校多目的ホール

・発表　「豊田高専図書館の現状と取組み」　　国立豊田工業高等専門学校　松浦　由紀氏

・見学　国立豊田工業高等専門学校図書館

②　第２回研究会　11月13日㈬　安城市歴史博物館

・講演　「安城の新実南吉」　　安城市歴史博物館　館長　高山　忠士氏

・見学　企画展「千客万来　－安城を彩った広告－」及び常設展

③　第３回研究会　２月４日㈫　西尾市岩瀬文庫

・体験講座　「古典籍と触れ合おう」　　西尾市岩瀬文庫　林　知左子氏

・見学　　岩瀬文庫蔵書

○東三地区

①　第１回協議会　６月27日㈬　渥美農業高等学校

・発表　「図書委員活動について（実践報告）」

発表者　成章高等学校　　教諭　鈴木　清隆氏

渥美農業高等学校　教諭　夏目　淑子氏

・講演　「蜷山のまちの図書館」　　講師　蜷山会　講師　森下　芳則氏

② 第２回協議会　11月27日㈬　田原文化会館101会議室
・講演　「図書館実務の実践」（POP作成）
講師　田原市学校図書館司書　　小久保せりな氏
浅野　りさ氏
・講演　「田原市図書館の取り組み－中高生への本の紹介－」
講師　田原市図書館司書　　白井　　茜氏
・見学　田原市図書館
③ 第３回協議会　１月31日㈮　渥美農業高等学校
・講演　「農業高校の取り組みと展示」
講師　愛知県立渥美農業高等学校　教諭　榊原　範恵氏
・見学　農場見学・農業鑑定競技会体験

○知多地区
① 運営会議・総会・第１回研究会　６月28日㈮　県立大府東高等学校
事業報告・会計報告・事業計画・予算　各校の現状報告と情報交換
② 第２回研究会　11月27日㈬　新美南吉記念館見学・学芸員講話
③ 第３回研究会　２月４日㈫　講演

○名古屋市立
① 総会及び第１回研究会　７月３日㈬　緑高等学校
・アンケートをもとに情報交換
② 第２回研究会　２月５日㈬　鶴舞図書館
・図書館の見学と説明
・情報交換および次年度の確認

○私学
① 定期総会・役員会　５月14日㈫　愛知県図書館
・講演　『「朝の読書」の原点を求めて』 講師　朝の読書推進協議会理事長　大塚　笑子氏
② 夏季研修会　６月14日㈮　一宮市立中央図書館
・講演　『一宮市立中央図書館の紹介とその役割り』　－学校図書館との連携－
講師　一宮市立中央図書館館長　杉山　弘幸氏
③ 秋季研修会（兼　愛知県私学教育研修会）
11月19日㈫　名古屋ガーデンパレス
・講演　『多様化する社会の人間関係にどう対応すればいいのか？』
講師　筑波大学大学院教授　宗像　恒治氏
・研究協議　『名古屋市図書館のティーンズサービス・レファレンス』
発表　名古屋市鶴舞図書館（奉仕第二係）
11月20日㈬　藤村記念館
・馬篭　藤村記念館『文豪島崎藤村の生涯とその作品』
案内　藤村記念郷理事　齋藤　　稔氏
④ 私学読書感想文コンクール審査会・役員会　２月14日㈮　愛知産業大学工業高等学校

○司書部研究会
① 司書部研究会　夏季研究会　８月23日㈮　刈谷市産業振興センター
・全体会　「学校図書館を考える」　講師　前半田商業高校司書　御子柴桂子先生
・「本校の収穫本」作成
・テーマ別分科会
第１分科会　「図書管理システムＮｏａｈについてわからないことを聞いてみよう！」
県立高蔵寺高校　成田　和憲先生
第２分科会　「図書館実務　Ｑ＆Ａ」
松蔭高等学校　高橋恵美子先生　　時習館高等学校　村上知香子先生
第３分科会　「図書館のセルフプロデュース」　新城東高等学校　建部　千恵先生
・実習「折り紙」　刈谷東高校　林田　嘉乃先生

第59回読書感想文愛知県コンクール

(1) 参加作品総数・入賞者数

（小・中学校は名古屋市立を除く）

	応募状況		入賞者数						
	応募校数	応募作品点数	愛知県知事賞	愛知県教育委員会賞	毎日新聞社奨励賞	愛知県学校図書館研究会賞	愛知県図書館協会賞	優良賞	計
小学校	713	212,290	3	5	4	6	8	254	280
中学校	309	95,926	3	1	2	2	6	66	80
高等学校	97	44,607	3	3	3	3	6	20	38
特別支援学校	15	338	3	3	3	3	3		15
合計	1,134	353,161	12	12	12	14	23	340	413
勤労青少年		15	1	1	1	0	2	2	7
総計		353,176	13	13	13	147	25	342	420

(2) 優秀賞入賞者一覧

① 愛知県知事賞

種別	自由読書		課題読書	
校種	校名・学年	氏名	校名・学年	氏名
小学校	岩倉市立岩倉北小学校 1年	山田惇太朗	幸田町立深溝小学校 1年	石田 ゆか
	豊田市立中山小学校 5年	檀浦 楓芽		
中学校	犬山市立東部中学校 2年	小林 諒	半田市立半田中学校 2年	松林 瑚音
			岡崎市立甲山中学校 2年	水野菜々子
高等学校	愛知県立岡崎商業高等学校 2年	相原 智夏	愛知県立岡崎北高等学校 1年	都築 梨花
	愛知県立一宮興道高等学校 2年	富田 早織		
特別支援学校	小学部	愛知県立豊橋聾学校 6年		福井 拓人
	中学部	愛知県立名古屋聾学校 3年		成田 愛望
	高等部	愛知県立名古屋養護学校 3年		下藤 美弘

② 愛知県教育委員会賞

種別	自由読書		課題読書	
校種	校名・学年	氏名	校名・学年	氏名
小学校	大府市立東山小学校 6年	関 藍人	東海市立加木屋小学校 2年	下ノ村匠翔
	西尾市立花ノ木小学校 4年	蟹江 優斗	春日井市立鷹来小学校 4年	三輪 拓海
			岡崎市立細川小学校 5年	山本茉奈美
中学校	西尾市立吉良中学校 2年	尾崎 楓太		
高等学校	愛知県立岡崎北高等学校 2年	和田みなみ	椙山女学園高等学校 3年	小林 潤奈
	愛知県立時習館高等学校 2年	白井 里奈		
特別支援学校	小学部	愛知県立一宮養護学校 4年		黒木 幸雄
	中学部	愛知県立名古屋盲学校 1年		長縄 侑斗
	高等部	愛知県立港養護学校 2年		加藤 将司

③ 毎日新聞社奨励賞

種別	自由読書		課題読書	
校種	校名・学年	氏名	校名・学年	氏名
小学校	北名古屋市立師勝南小学校 4年	杉浦 七海	知多市立岡田小学校 6年	後藤 輝
	知立市立知立小学校 2年	竹林 鈴乃	豊田市立大林小学校 4年	橋本 佳歩
中学校			稲沢市立治郎丸中学校 2年	渡辺 莉代
			田原市立赤羽根中学校 3年	小川 真由
高等学校	光ヶ丘女子高等学校 1年	京藤満衣子	愛知県立知立東高等学校 2年	山田裕梨子
	愛知県立江南高等学校 1年	奥川ひかる		
特別支援学校	小学部	愛知県立岡崎養護学校 6年		井上 陽菜
	中学部	愛知県立港養護学校 2年		下條 拓海
	高等部	愛知県立港養護学校 2年		桑原ショヘルホセイン

④　愛知県学校図書館研究会賞

種別	自由読書		課題読書	
校種	校名・学年	氏名	校名・学年	氏名
小学校	幸田町立幸田小学校　1年	栗田　楓生	あま市立篠田小学校　4年	安井　千晶
	豊橋市立二川小学校　6年	川崎　敦基	春日井市立不二小学校　6年	小浦　怜奈
			半田市立板山小学校　5年	奥平　結衣
			豊橋市立下地小学校　4年	中神　彩佳
中学校	豊川市立南部中学校　1年	牧野　桃也	春日井市立柏原中学校　3年	山田　純里
高等学校	愛知県立岡崎商業高等学校 3年	森山日菜乃	金城学院高等学校　2年	川瀬　花恋
	愛知県立岡崎高等学校　2年	井上　京佳		
特別支援学校	小学部	愛知県立千種聾学校　4年		近藤　優衣
	中学部	愛知県立豊橋養護学校　1年		藤澤　瑞希
	高等部	愛知県立名古屋盲学校　3年		山田　真弓

⑤　愛知図書館協会賞

種別	自由読書		課題読書	
校種	校名・学年	氏名	校名・学年	氏名
小学校	東浦町立森岡小学校　2年	渡戸　泰志	江南市立古知野北小学校 1年	丹羽　朋樹
	武豊町立武豊小学校　4年	石井　さら	豊田市立山之手小学校　1年	佐藤　克哉
	一宮市立千秋南小学校　6年	後藤　仁	高浜市立高浜小学校　5年	石川　愛華
	豊田市立明和小学校　4年	参河　桂吾		
	岡崎市立六ツ美南部小学校 6年	黒柳　華穂		
中学校	稲沢市立大里中学校　2年	多田　朱里	日進市立日進中学校　3年	深谷　穂乃
	小牧市立桃陵中学校　1年	近藤　拓生	幸田町立幸田中学校　1年	手島　瑠美
	幸田町立北部中学校　1年	鈴木　蘭菜		
	安城市立明祥中学校　2年	岩﨑　由花		
高等学校	愛知県立一宮興道高等学校 2年	野田歩乃花	愛知県立岡崎高等学校　1年	渡我部ゆき
	愛知県立岡崎北高等学校 2年	八野田　奨	愛知県立時習館高等学校 1年	木村　美帆
	愛知県立一宮高等学校　2年	小島　響子		
	愛知県立千種高等学校　1年	今井　咲帆		
特別支援学校	小学部	愛知県立豊橋聾学校　1年		豊田ひまり
	中学部	愛知県立一宮聾学校　3年		長田　彩生
	高等部	愛知県立一宮聾学校　2年		谷口奈津子

〈勤労青少年の部〉

愛知県知事賞	トヨタ自動車株式会社	中山　覚史
愛知県教育委員会賞	トヨタ自動車株式会社	石田　大祐
毎日新聞社奨励賞	トヨタ自動車株式会社	小椋　雅大
愛知県図書館協会賞	トヨタ自動車株式会社	児玉　千都
	トヨタ自動車株式会社	磯貝　康平

◎　全国コンクール入賞者

●　小学校の部・自由図書

内閣総理大臣賞

岩倉市立岩倉北小学校１年　　山田惇太朗　「ぼくのがまん」

書名：柳生弦一郎・著　『かさぶたくん』　福音館書店

●　勤労青年の部・自由図書

サントリー奨励賞

トヨタ自動車株式会社　　中山　覚史　「リアルとイメージ」

書名：　東野圭吾・著　『手紙』　文春文庫

⑶　審査概評

ア　小学校の部

審査員　一宮市立貴船小学校　**三輪　治恵**

低学年の部では，子どもらしい，素直な感想が多く寄せられた。誰でも一度は考えたことがあるテーマを，本の世界と現実の世界を重ね合わせながら，うまく作品にまとめていた。課題読書では，主題を正しく捉え，自分の体験と結びつけて感想を書いた作品が多く，しっかりと読み深めていることが伝わってきた。自由読書では，弟や妹，自分が生れたときのことを考える，誕生に関する本の感想が多くあった。生活の中での大きな出来事と本の世界をつなぎ合わせて，選書していることがうかがえた。

中学年の部では，登場人物の心情や，作品が語っているものを的確に捉え，自分の体験と重ね合わせて書かれている作品がたくさんあった。また，単に，自分との比較だけにとどまらず，読書によって自己の変革が見られた作品もあった。課題読書では，『くりぃむパン』の感想が多かった。それらの作品は，友だちの良さを認めることや友だちを大切にすることの必要性を，自分の言葉でまとめられていた。自由読書では，生命の大切さについて書かれた作品が多く，身近に起こりうることをテーマに選ぶことで，考えやすく，感想が書きやすかったようだ。

高学年の部では，読書をする前後での，気持ちの変容を感じさせる作品が多かった。課題読書では，主題を的確につかんだ作品が多く，読み応えがあった。『オムレツ屋へようこそ！』は，家族愛をテーマとして扱っており，自らの生活や，これからの人生について考え直している作品があった。自由読書では，本をよく読み込み，自分と照らし合わせて感想が書けていた。ただ，戦争をテーマにした作品では，ありきたりの感想になっているものが見受けられた。自分だけの言葉が出てくると良かったと思う。

全体を通して，選書の大切さを感じた。自分の体験と重ね合わせ，共感したり，考えを深めたりできる本を選ぶことで，自分にしか書けない作品がうまれると思う。子どもたちが，自分にぴったりの本に出会えるように，ブックトークや推薦図書の紹介などの活動を，継続して行うことが大切だと思った。

イ　中学校の部

審査員　蒲郡市立塩津中学校　**森　　卓也**

中学校の部では，一冊の本と真剣に向き合い，作品のテーマを上手に捉えながら，自分の思いを丁寧に書いている作品に高い評価が集まりました。

自由読書の部では，ノンフィクションを扱ったものが多く，著者の体験や思いを，自分自身のことにうまくつなげて書いている作品が光っていました。友だち，部活，家族，夢など，自分の生活や生き方を素直に見つめようとしている姿は，読む者をひきつける力をもっており，好感がもてました。また，フィクションを扱った作品においても，その本のテーマをしっかりと捉え，そのテーマに沿いながら，丁寧に自分の思いをつづった作品が多くありました。感想文では，テーマを的確に捉えると同時に，そのテーマにどう切り込み，自分の体験や思いをどう伝えていくかが重要なポイントです。そういった点において，よく練られた作品が多く，一人一人の個性がよく表現されていました。中学生らしい素直な視点から，一生懸命に自分を見つめることが，より魅力的な文章を書くためのポイントだと改めて考えさせられました。

課題読書の部では，文章の構成や言葉選びなど，よく考えられたものが多く，読み応えがありました。『チャーシューの月』では，あまり馴染みのない児童養護施設の子どもたちの話にもかかわらず，登場人物の気持ちや変容を真剣に考えている作品が多くありました。なかには，虐待などの社会問題にふれているものもありました。『フェリックスとゼルダ』では，常に希望を持ち続ける主人公の人物像を自分なりに読み取ろうとする作品が目立ちました。『ぼくが宇宙人をさがす理由』では，著者の生き様やメッセージに共感しながら，自分の学校生活での共通点を書いている作品が多くありました。また，学年を重ねるごとに，読み取る力が高まっている印象を強く受けました。

両部門において，どちらも，一人一人の個性がうまく表現された，読み応えのある作品が目立ち

ました。しかし，一方で，字数や誤字に指導が行き届いていない作品もありました。今後，生徒の作品の良さがよりひきたつ指導に心掛けていきたいと思いました。

ウ　高等学校の部　　審査員　名古屋市立緑高等学校　**服部　美紀**

自由読書には，評価の定着した古典的名作から映画・ＴＶドラマなど映像作品の原作まで，バラエティーに富んだ書籍の感想が寄せられた。特に後者は，高校生の選書におけるマスメディアの影響を如実に物語る機会となった。対象図書の選択が応募者本人に任されているだけに，「何故この本を選び，感想を書くに至ったか」という必然性が文章の隅々に表れているか否かを審査会における論点の一つとした。「読書感想文」というよりは「体験談」に終始してしまった作品も見受けられたが，一冊の本との出会いにより，物事に対する認識を改め，自身の〈核〉が変化していく様を丁寧に描いた作品もあり，「読書」という行為の根源的な力を改めて感じさせられた。ただ，「もっと対象図書を読み込むとともに，自身の内面を深く掘り下げてこその読書感想文ではないか」と時折もどかしい思いをしたのも事実である。出会いを意義あるものにするには，本自体のクオリティーも重要である。感受性の豊かな時期だからこそ，気軽に向き合える易しい本ばかりではなく，咀嚼するにはいささか忍耐を要する古今東西の良書にも，果敢に挑戦してほしい。

課題読書では，『ジョン万次郎　海を渡ったサムライ魂』において，主人公の勇気やひたむきさ，決して諦めない粘り強さなどに共感する作品が多く見られた。「グローバル社会」「国際理解」といったキーワードを軸に論じる読みごたえのある作品もある一方，等身大の高校生らしい素直な表現で好感を抱かせる作品もあった。また，生徒にとって内容が身近であったためか，『歌え！多摩川高校合唱部』にも多くの作品が寄せられた。『宇宙へ「出張」してきます　古川聡のＩＳＳ勤務１６７日』は，応募作品が全体的に少ないのが残念であった。ノンフィクション作品で感想文を書くことに難しさを感じる生徒が多いのか，作品の筋を追うことに終始してしまう傾向もあった。

尚，県審査会の段階でも誤字・脱字，原稿用紙の不適切使用などが散見された。提出する前に必ず推敲する習慣をつけるとともに，語彙力を高めるための様々な工夫を期待したい。

エ　特別支援学校の部　　審査員　愛知県立港養護学校　**中川巳也子**

小学部では，本を読んで楽しさを味わったり，新しい考え方を発見したりしている作品が多くあった。書き出しやまとめの部分を上手に表現できている反面，本の主題を十分につかめず，表面的な読みや感想で終わっている作品も多いという印象だった。入賞作品は，本の内容を心から楽しんで，新鮮な印象を最後まで丁寧に書き切っていた。本のあらすじの部分と，感想や自分の考えの部分とをはっきり書き分けて，よくまとめられていた。

中学部では，読後に自らの世界が広がって，読書の喜びや楽しみを深く味わっている様子が感じられた。登場人物の気持ちを読み取って自分の考えを述べることができていても，著者の論旨を的確にとらえ切れていないという作品もあった。本年度は，文字数不足の作品も目立った。入賞作品は，登場人物の心情や場面の様子などの複雑な描写もよく読み取れていて，驚かされた。自分の障がいと照らし合わせて考えることができた作品では，自己を変革していこうとする強い気持ちがよく表現できていた。

高等部では，本の内容を深く読み取り，自身の状況や体験と重ね合わせて独自の考えがまとめられていたが，全体に語いが乏しく，表現がやや平板な印象だった。自らの主張を豊かな筆致で鋭く表現できるとさらによいと感じた。入賞作品は，登場人物の移ろう心情を細やかに読み取って共感するだけにとどまらず，自分の生き方に投影して考えることができていた。熟考することで一ステージ高い所へと自らを導く結論に達したものもあった。児童図書での応募作品は，論旨に深く迫り，自分の言葉で率直な考えが述べられていたが，本の選択が適切でないため，入賞を逃した。

本年度，書き出しの部分に読み手をひきつけるような工夫が見られる作品が多かった。今後は，感想や考えをより的確な言葉や言い回しで表現する力，主張を論理的に展開する文章全体の構成力などを高めることが課題になると思われる。そのためにも，これからも様々な分野の本に数多く親しんでもらいたいものである。

第25回読書感想画愛知県コンクール

(1) 参加作品総数・入賞者数

（名古屋市立の小・中学校を除く）

	応募状況		入賞数						
	応募校数	応募作品数	優秀		優良		佳作		計
			自由	指定	自由	指定	自由	指定	
小学校	490	120,548	2	2	14	8	22	10	58
中学校	92	3,111	1	1	6	4	10	6	28
高等学校	29	650	1	1	9	1	14	2	28
合計	611	124,309	4	4	29	13	46	18	114

＊特別支援学校における小・中・高各部の応募校数および応募作品数は，それぞれ対応する部門に含まれる。

(2) 審査概評

ア 小学校の部　　審査員　豊橋市立向山小学校　河合　知美

今年度は，各学校で審査のうえ，２割程度の作品を出してもらったため，審査会に出てくる作品数は少なかった。特に指定図書の作品が少なかった。

低学年では，個性豊かでダイナミックな作品が多かった。色づかいや構図などを自分なりに考え，表現した作品に暖かみを感じた。描き方の指導にとらわれず，自分の気持ちが素直に出ている作品があった。しかし中には，絵本の印象が強すぎる作品もあり，挿絵のイメージから離れて描くことの難しさを感じた。

高学年では，中学生にはないのびのびとした作品が多かった。様々な技法を取り入れた作品が目を引いた。また，着色の仕方で作品のイメージが大きく変わると感じた。ぱっと見たときは同じ色だが，よく見るとたくさんの色が使ってある作品の方が印象がよくなり，楽しい作品になっている。仕上げの色づかいの量を増やすとさらによくなるだろうと思われる作品があった。

低学年，高学年ともに，発達段階に応じたのびのびとした作品が多かった。感想画に取り組んでいる時間は，その子が本とじっくり向き合う時間になるので，どの子にもそういう経験をさせたい。だが，実際は時間の制約があり，なかなか思うように取り組めない。夏休みを利用するなど，子どもが感想画に取り組む時間が保障されれば，指定図書も含めさらにレベルの高い作品が出てくるのではないかと期待する。

イ 中学校の部　　審査員　弥富市立弥富中学校　中山　由子

空間や奥行きを考えたり，見る人の視点を意識したりして描いた作品が多く，非常に目を引いた。また，本を読んで感じた思いを表そうと，時間をかけて丁寧に描き込んだ様子もうかがえた。画材も工夫してあり，アクリル絵の具や色鉛筆，パスなどを巧みに重ねて彩色することで，深みのある作品に仕上げられていたのもよかった。

しかし，中には，技術的には十分な力があるけれども，構図の工夫がされていないために，描きたいものの中心がぼやけてしまった作品もあった。読書感想画は，見る人へも読後の感動がつながるような作品であってほしいと思う。そのためには，何を描きたいのか伝えたいのかを自分自身がしっかりと捉えてから制作に取り組んでほしい。

小低・指定・優秀賞
「アナベルの毛糸」
岡崎市立連尺小学校３年
為水　ひなた

小高・自由・優秀賞
「カワセミが来た」
岡崎市立山中小学校６年
杉原　佐奈

中学・自由・優秀賞
「うた時計のメロディー」
東浦町立西部中学校２年
深津　美羽

ウ　高等学校の部・特別支援学校の部　　審査員　碧南高等学校　**加藤康二郎**

昨年度に引き続き２回目の審査会への参加となったが，今年度も昨年同様レベルの高い作品が多数集まった。応募作品の中には原作の内容がわかっているものもあったが，自分が思い描いていた原作のイメージとは全く異なる観点で捉えている作品もあり，個々の人間の捉え方の多様性とともに学生たちの発想力に驚かされるものがあった。

高校・自由・最優秀賞
「Bird」
一宮東養護学校２年
橋爪　優暮

優秀，優良作について思うところを述べてみたい。高等学校の部優秀作として選ばれた岩倉総合高等学校の宮下知也さんの作品は圧倒的な描写力に裏付けされた描き込みとともに，大胆でありながら考え抜かれた画面構成が高く評価できる。優良作は６点選出されており，岩倉総合高等学校の佐藤華波さんの作品は画面中央の花輪の中と外で風景が異なるという発想が目を引く。愛知商業高等学校の本間慈乃さんの作品は淡い水彩表現であるが，多彩な色を幾重にも重ねて深みを出している。岩倉総合高等学校の伊木さなえさんの作品はラ・トゥールを参考にしたとのことだが，繊細な光の表現を巧みに描ききっている。一宮興道高等学校の加納紫帆さんの作品は巧みな水面描写とともに暖色を豊かに用いた紙の表現が評価される。岩倉総合高等学校の石川まいさんの作品は躍動感あふれる画面構成と，決して派手ではないが効果的に用いられた色彩に魅力を感じる。椙山女学園高等学校の石田智子さんの作品は多彩に配色された水彩表現が画面を豊かにしている。特別支援の部優秀作の一宮東養護学校の橋爪優暮さんの作品はまずその鮮やかな色彩に眼を奪われるが，絶妙なバランスで色彩が配置されており，遠目では抽象画ともとれるような画面構成に惹かれるものがある。優良作は４点とも一宮東養護学校からものであるが，水谷隆宏さんの作品は画面中央に大胆に配置されたキリンを取り囲むように様々な色彩，タッチで表現されており，その軽やかな表現に好感が持てる。須藤幹太さんの作品は一枚の窓を介して，見る者，見られる者の関係が独創的な表現でミステリアスに描かれており，壁面に配置された植物の表現も相まって不思議な空気感を演出している。大野楓さんの作品は親子と思われる２匹の猫が淡い表現で描かれているが，個性的な筆運び（タッチ）に魅力を感じる。近藤巧也さんの作品は描かれた建造物，植物の表現に造形的な面白さを感じる。

以上12点の作品について述べてみたが，どれも作者のキャラクターを想像させるような魅力に溢れたものばかりであった。高校生の部，特別支援の部を併せて俯瞰的に眺めてみると，技術力の差はあれども，作品としての魅力はそれぞれに持ち合わせており，絵画表現の多様性と豊かさを再認識させられた。

審査の中で，審査員一同，特に神経を使ったこととして，例年と同様であるが作品の引用問題がある。今回も何点かの作品に意見が出たが，現代に生きる学生たちは様々な情報に囲まれて生活しており，それらの存在を無視することの方が困難な状況である。従ってそれらを資料として使用することはごく自然な行為である。しかしそこで注意せねばならないのは，どの程度まで参考にすることが許されるのかといった線引きを明確にし，それを彼らに周知させることである。その点については今後の課題として議論を進める必要がある。

また応募状況に関してだが，高等学校の部は17校515点，特別支援の部12校135点と，昨年と比較すると全体的には減少している状況である。学生たちの想像力を育む絶好の機会として，さらに周知が進むことを期待している。

⑶　入賞者一覧（中央コンクール送付分）

部門		優秀賞		優良賞	
小学校低学年	自由	稲沢市立法立小学校　１年	渡邊　海吏	岡崎市立山中小学校　１年	鎌倉　剛
	指定	岡崎市立連尺小学校　３年	為水ひなた	日井市立篠原小学校　３年	大津　優穂
小学校高学年	自由	岡崎市立山中小学校　６年	杉原　佐奈	稲沢市立稲沢西小学校　６年	橋本　悦司
	指定	瀬戸市立原山小学校　５年	成田　晴	岡崎市立上地小学校　６年	柳澤ありす
中学校	自由	東浦町立西部中学校　２年	深津　美羽	安城市立桜井中学校　３年	三浦　若菜
	指定	豊橋市立南部中学校　１年	松田詩野歩	江南市立布袋中学校　１年	稲山　初音
高等学校	自由	愛知県立一宮東養護学校　２年	橋爪　優暮	愛知県立岩倉総合高等学校　１年	佐藤　華波
	指定	愛知県立岩倉総合高等学校　２年	宮下　知也	愛知県立岩倉総合高等学校　１年	石山　まい

◎中央コンクール　最優秀賞　愛知県立一宮東養護学校高等部２年　橋爪　優暮　「Bird」

平成25年度愛知県学校図書館研究会　事業・情勢報告

事務局長　水　野　裕　司

1　第36回東海地区学校図書館研究大会の開催

今年度は東海大会が，８月７日㈬・８日㈭に，愛知県豊橋市で開催された。研究主題を『人をつなぐ・夢をはぐくむ・ことばをつむぐ～子どもの学びをささえる学校図書館～』とし，愛知・静岡・岐阜・三重を中心に学校図書館関係教師はもとより，学校図書館司書や地域の図書館司書，また図書ボランティアの方々等を含むおよそ650名の参加者を得ることができた。

１日目は，午後から穂の国とよはし芸術劇場（プラット）において，開会式が行われ，引き続き「学校図書館の現状と課題」について，全国図書館協議会理事の堀川照代氏から報告があった。その後，京都女子大学教授の井上一郎氏より「読解力を向上させる読書活動と学校図書館改造プロジェクト」という演題で記念講演をいただいた。読解力とは何か，学校図書館はどうあるべきかなどについて具体例を挙げ分りやすく，またユーモアを交えた独特の口調で，説得力のある講演に会場全体が熱気に包まれた。

２日目は，愛知大学豊橋キャンパスで分科会として，研究実践発表，司書教諭向けワークショップ，大学教授等による講義，近隣の学校図書館見学等を行った。今回分科会は全国大会に倣い，助言者を設けず，司会者が助言・まとめを行った。また従来の「読書センター」「学習情報センター」の枠を取り除き発表テーマで分けた。助言者をなくすことで大会運営が簡便になり，枠を取り除いたことで提案者は発表がしやすくなった。これらのことは参加者にもおおむね好評であった。

研究実践発表ではそれぞれのテーマに沿って約80分発表や意見交換が行われた。またワークショップは約３時間にわたりテーマごとにさまざまな体験を行い，参加者は熱心に取り組み，盛況の内に研究大会を終えることができた。

2　創立50周年記念式典・記念講演の開催

本会は本年度創立50周年を向かえ，10月25日㈮に記念式典・記念講演が愛知県図書館大会議室で行われた。歴代の会長・事務局長経験者からなる貢献者19名中12名，長年にわたり本会の発展に貢献され各地区から推薦された功労者50名中31名の方々を含む100名弱が出席した。

記念式典では貢献者・功労者それぞれの代表の方へ感謝状と記念品が渡された後，代表の方から思い出話や近況報告を含めた心温まるあいさつがあった。

引き続き，ポプラ社社長坂井宏先氏より「図書館と書店，出版業界の抱える問題－そして編集者としての自分－」という演題で記念講演をいただいた。地域書店の抱える問題，デジタル教科書・電子書籍，公共図書館の民営化等出版界が抱える問題点から人気ロングセラーの「ズッコケ三人組」

「かいけつゾロリ」シリーズにまつわる裏話へと和やかな雰囲気で講演会を終えることができた。

3　第59回青少年読書感想文愛知県コンクールの実施と情勢

毎日新聞社と愛知県学校図書館研究会主催で青少年読書感想文愛知県コンクールを実施し総計1,134校から353,176点の応募があった。

平成23年度より，愛知県，愛知県教育委員会，愛知県図書館協会への後援依頼や賞状・賞品の手配に加え，愛知県知事賞の県庁での賞状受け取り，毎日新聞社への印刷依頼，筆耕，その後の県知事への押印依頼も県事務局が行っている。副賞については，予算削減のため愛知県教育委員会賞の副賞が貰えなくなったため，本会から盾を贈ることになった。

賞品の発送については，費用を抑えるために業者から各地区へ直接発送したり，県事務局長が毎日新聞社で副賞を受け取るとき，担当者（取りまとめ役）と連絡を取り合うなど合理的に対処した。

実施要項は，今年度も本会のホームページからダウンロードする方法で配付した。

また，全国ＳＬＡでは学校現場の変化に対応し，「読書指導の推進」という原点を大事にしつつ，青少年読書感想文全国コンクールの在り方を見直すために，当コンクールの目的の明確化と改善の検討を始めた。平成26年度の第60回コンクールの大幅なリニューアルに向けて各方面へのアンケートが実施された。

4　第25回読書感想画愛知県コンクールの実施と情勢

合計611校，124,309点の応募があり，尾張部，三河部，高校・特別支援学校の部の３部会で１月に審査会を行った。昨年同様，中学校と高校・特別支援学校の参加率が低く，出品数も少ない。また，指定図書でかかれた感想画も少ない。応募の際，１学年に２作品程度の出品という枠決めに問題があるかもしれない。小中学校の特別支援学級の応募・審査の在り方についても次年度への検討課題としたい。また，開催時期についても特に高等学校では「センター試験」の時期と重なるなど日程調整が難しい。

全国ＳＬＡとしてもこれらの指摘を踏まえて，一部見直しを考えている。

5　読書感想文集「天空」の発行

第12号となる平成25年度読書感想文集「天空」は，12月と１月に編集会議が行われ，２月中旬に発行された。作成数は1700部となった。

6　学校図書館運営のための実務講習会の開催

尾張・三河・高校の各地区や市町村単位で，学校図書館の管理運営・利用指導・読書指導を中心とした実務講習会を実施している。各地区の実情に合った内容で，年々充実してきている。

7　愛知県学校図書館紀要の発行

愛知県学校図書館の一年間の活動をまとめた研究紀要は，今年55号となった。今年度は50周年記念号として大幅に頁を増やし，この10年間のあゆみを紹介した。８月，10月，１月，２月に４回の研究紀要編集会議を開催し，３月上旬に発行した。作成数は1650部となった。

平成25年度愛知県学校図書館研究会役員・理事・評議員一覧

(1) 役　　員

会　　長	(高校)	柴　田　悦　己	愛知県立岡崎東高等学校　校長
副 会 長	(尾張)	浅　野　京　子	東海市立横須賀中学校　校長
副 会 長	(三河)	稲　垣　考　俊	豊川市立小坂井西小学校　校長
副 会 長	(高校)	竹　下　耕　志	愛知県立新城東高等学校　校長
監　　事	(尾張)	木　村　芳　博	小牧市立小牧原小学校　校長
監　　事	(三河)	渥　美　久美子	岡崎市立広幡小学校　校長
事務局長	(高校)	水　野　裕　司	愛知県立岡崎東高等学校　教諭

(2) 会務運営分担

	部　　長	副 部 長	部　　員
研究部	柴　田　悦　己 (県立・岡崎東高等学校長)	竹　下　耕　志 (県立・新城東高等学校長) 浅　野　京　子 (東海・横須賀中学校長) 杉　浦　博　人 (豊橋・大崎小学校長)	岩　田　久　徳　(東海・加木屋小学校教頭) 安　田　剛　章　(稲沢・長岡小学校教諭) 河　合　知　美　(豊橋・向山小学校教諭) 丹　下　知佐子　(岡崎・矢作西小学校教諭) 山　口　武　人　(県立・新城東高等学校教諭) 石　原　伸　祐　(県立・瀬戸北総合高等学校教諭)
紀要部	木　村　芳　博 (小牧・小牧原小学校長)	仙　田　　桂 (江南・古知野西小学校長) 稲　垣　考　俊 (豊川・小坂井西小学校長) 小野寺　雄　二 (県立・大府東高等学校長)	冨　田　賢　史　(小牧・小牧中学校教諭) 福　嶋　淳　代　(小牧・味岡小学校教諭) 渡　辺　まゆみ　(岩倉・岩倉東小学校教諭) 平　林　　健　(新城・鳳来寺小学校教諭) 中　川　なつ美　(刈谷・刈谷南中学校教諭) 高　坂　幸　蔵　(県立・大府東高等学校教諭) 阿　部　典　子　(県立・江南高等学校教諭) 夏　目　淑　子　(県立・渥美農高等学校教諭)
読感部	榊　原　重　幸 (安城・桜井小学校長)	大　島　純　子 (一宮・葉栗北小学校長) 伊　藤　幸　代 (津島・神守小学校長) 渥　美　久美子 (岡崎・広幡小学校長) 古　澤　清　貴 (豊田・畝部小学校長) 竹　本　正　子 (豊田・堤小学校長) 山　本　俊　一 (市立・緑高等学校長) 市　川　　博 (私学・愛産大工高等学校長)	〈読書感想文〉 真　野　なおみ　(一宮・丹陽南小学校教頭) 土　屋　艶　子　(一宮・小信中島小学校教頭) 鳥　井　　萌　(蒲郡・蒲郡東部小学校教諭) 長谷川　真　弓　(市立・緑高等学校教諭) 塚　本　幸　弘　(県立・渥美農工高等学校教諭) 〈読書感想画〉 石　原　恵　理　(あま・篠田小学校教諭) 仲　井　昌　美　(豊田・竹村小学校教諭) 栗　本　清　美　(安城・桜井小学校教諭) 吉　田　健　一　(私立・愛産大工高等学校教諭)

(3) 事　務　局

(県) 水　野　裕　司	愛知県立岡崎東高等学校 〒444－3524　岡崎市竜泉寺町字後山27	電　話　0564－52－8911 ＦＡＸ　0564－55－9410
(尾張) 石　原　里　美	東海市立加木屋小学校 〒477－0032　東海市加木屋町編笠９	電　話　0562－32－2207 ＦＡＸ　0562－32－2208
(西三) 山　本　　伸	岡崎市立広幡小学校 〒444－0066　岡崎市広幡町11－１	電　話　0564－21－0610 ＦＡＸ　0564－21－0717
(東三) 河　辺　紗代子	豊川市立金屋小学校 〒442－0067　豊川市金屋西町１－１	電　話　0533－86－6262 ＦＡＸ　0533－89－5312
(高校) 石　原　伸　祐	愛知県立瀬戸北総合高等学校 〒489－0906　瀬戸市本郷町260	電　話　0561－48－1500 ＦＡＸ　0561－48－5426

⑷ 役員・理事・評議員

役名	職名	氏名	所属校
会長	校長	柴田悦己	県立・岡崎東高
副会長	校長	浅野京子	東海・横須賀中
副会長	校長	稲垣考俊	豊川・小坂井西小
副会長	校長	竹下耕志	県立・新城東高
監事	校長	木村芳博	小牧・小牧原小
監事	校長	渥美久美子	岡崎・広幡小
事務局長	教諭	水野裕司	県立・岡崎東高
理事	校長	堀田義賢	稲沢・稲沢北小
理事	校長	伊藤幸代	津島・神守小
理事	校長	大島純子	一宮・葉栗北小
理事	校長	仙田桂	江南・古知野西小
理事	教頭	岩田久徳	東海・加木屋小
理事	教頭	若山みどり	海部・大治西小
理事	教頭	真野なおみ	一宮・丹陽南小
理事	教頭	土屋艶子	一宮・小信中島小
理事	教諭	林智子	常滑・鬼崎中
理事	教諭	石原里美	東海・加木屋小
理事	教諭	冨田賢史	小牧・小牧中
理事	教諭	福嶋淳代	小牧・味岡小
理事	教諭	安田剛章	稲沢・長岡小
理事	教諭	河合芳恵	稲沢・稲沢北小
理事	教諭	石原恵理	あま・篠田小
理事	教諭	渡辺まゆみ	岩倉・岩倉東小
理事	教諭	大島奈保美	犬山・犬山北小
理事	校長	杉浦博人	豊橋・大崎小
理事	校長	古澤清貴	豊田・畝部小

役名	職名	氏名	所属校
理事	校長	榊原重幸	安城・桜井小
理事	教諭	河合知美	豊橋・向山小
理事	教諭	河辺紗代子	豊川・金屋小
理事	教諭	鳥井萌	蒲郡・蒲郡東部小
理事	教諭	平林健	新城・鳳来寺小
理事	教諭	山本伸	岡崎・広幡小
理事	教諭	丹下知佐子	岡崎・矢作西小
理事	教諭	仲井昌美	豊田・竹村小
理事	教諭	中川なつ美	刈谷・刈谷南中
理事	教諭	栗本清美	安城・桜井小
理事	校長	北角尚治	県立・日進西高
理事	校長	森崎忠彦	県立・江南高
理事	校長	小野寺雄二	県立・大府東高
理事	校長	千賀敬之	県立・西尾東高
理事	校長	伴浩志	県立・渥美農業高
理事	校長	山本俊一	市立・緑高
理事	校長	市川博	私立・愛産大工業高
理事	教諭	石原伸祐	県立・瀬戸北総合高
理事	教諭	山口武人	県立・新城東高
理事	教諭	高坂幸蔵	県立・大府東高
理事	教諭	長谷川真弓	市立・緑高
理事	教諭	吉田健一	私立・愛産大工業高
評議員	校長	長江章彦	瀬戸・原山小
評議員	校長	八並清美	春日井・岩成台西小
評議員	校長	深谷正勝	東郷町・春木台小
評議員	校長	富田和美	清須・新川小

役名	職名	氏　名	所　属　校
評議員	校長	広　瀬　真　輔	犬　山・今　井　小
評議員	校長	有　尾　幸　市	岩　倉・岩倉南小
評議員	校長	尾　関　正　照	扶桑町・扶　桑　中
評議員	校長	石　井　友　和	半　田・板　山　小
評議員	校長	中　山　和　久	常　滑・鬼崎北小
評議員	校長	山　下　千寿栄	大　府・共和西小
評議員	校長	入　野　百合子	知　多・つつじが丘小
評議員	校長	大　岩　茂　夫	知多東・東　部　小
評議員	校長	山　本　　敬	知多南・野　間　小
評議員	教頭	水　野　博　文	尾張旭・西　　中
評議員	教頭	吉　田　勝　俊	日　進・香久山小
評議員	教頭	山　田　洋　子	豊　明・中　央　小
評議員	教頭	鷹　見　みゆき	知　多・中　部　中
評議員	主幹	芳　賀　　稔	尾張旭・西　　中
評議員	教諭	新　帯　圭　子	常　滑・鬼崎北小
評議員	教諭	藤　本　素　子	瀬　戸・品野台小
評議員	教諭	伊　藤　親　良	春日井・北　城　小
評議員	教諭	有　賀　美　穂	日　進・香久山小
評議員	教諭	澤　田　洋　子	江　南・宮　田　中
評議員	教諭	土　屋　由紀子	岩　倉・南　部　中
評議員	教諭	尾　関　花　子	扶桑町・高　雄　小
評議員	教諭	近　藤　雅　彦	豊　明・舘　　小
評議員	教諭	塚　本　静　也	長久手・南　　小
評議員	教諭	常　川　智　光	北名古屋・師勝西小
評議員	教諭	神　谷　眞由美	半　田・半　田　小
評議員	教諭	永　田　範　子	東　海・三ツ池小

役名	職名	氏　名	所　属　校
評議員	教諭	大河内　純　子	大　府・北　山　小
評議員	教諭	林　　幸　子	知多東・東　部　小
評議員	教諭	牧　　ゆみ子	知多南・奥　田　小
評議員	校長	田　中　佳代子	蒲　郡・蒲郡北部小
評議員	校長	加　藤　由美子	新　城・東　陽　小
評議員	校長	平　井　　敦	田　原・若　戸　小
評議員	校長	岡　田　　守	北　設・津　具　中
評議員	校長	津　田　節　代	刈　谷・依佐美中
評議員	校長	山　下　清　幸	西　尾・米　津　小
評議員	校長	石　川　和　昌	碧　南・新　川　中
評議員	校長	六　角　英　彰	高　浜・翼　　小
評議員	校長	丹　羽　雅　英	額　田・南　部　中
評議員	校長	加　藤　了　介	みよし・北　　中
評議員	教頭	高　井　富　夫	知　立・知立東小
評議員	教諭	河　合　史　子	田　原・泉　　小
評議員	教諭	金　田　千賀子	北　設・田　口　小
評議員	教諭	中　内　悦　子	西　尾・西野町小
評議員	教諭	鬼　頭　美保子	碧　南・大　浜　小
評議員	教諭	野々山　美千代	知　立・知立西小
評議員	教諭	黒　野　　渚	高　浜・吉　浜　小
評議員	教諭	岡　田　真　里	額　田・幸　田　中
評議員	教諭	平　迫　亜　紀	みよし・三　吉　小
評議員	教諭	阿　部　典　子	県　立・江　南　高
評議員	教諭	塚　本　幸　弘	県　立・日進西高
評議員	教諭	判　家　正　子	県　立・西尾東高
評議員	教諭	夏　目　淑　子	県　立・渥美農業高

平成25年度愛知県学校図書館研究会予算

収入予算額	支出予算額	残　額	備　考
3,452,670	3,452,670	0	

収 入 の 部

項　目	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額	比　較	備　考
会費	2,199,740	2,199,740	0	
雑収入	666,652	140,000	△526,652	全国ＳＬＡ助成金・利息など 研究大会残金がないため
繰越金	852,644	1,112,930	260,286	
計	3,719,036	3,452,670	△266,366	

支 出 の 部

項　目		平成24年度 決算額	平成25年度 予算額	比　較	備　考
補助対象費	研究大会費	400,000	400,000	0	東海大会負担金
	研究調査費	330,000	330,000	0	高校，尾張，西三，東三に分配
	謝金	40,000	40,000	0	
	旅費	20,000	20,000	0	
	資料費	170,000	170,000	0	
	通信運搬費	100,000	100,000	0	
	研究成果刊行費	849,791	920,000	70,209	研究紀要，読書感想文集「天空」
	資料費	838,111	900,000	61,889	
	通信運搬費	11,680	20,000	8,320	
	その他	0	0	0	
	小計	1,579,791	1,650,000	70,209	
非補助対象費	読書感想文調査費	120,000	120,000	0	高校，尾張，西三，東三に分配
	読書感想画調査費	60,000	60,000	0	高校，尾張，西三，東三に分配
	分担金(全国SLA)	83,300	83,300	0	
	会議費（会場料）	0	0	0	他会場を使用しない予定
	事務局費	488,015	585,000	96,985	
	通信連絡費	281,804	290,000	8,196	HP年間更新料を含む
	印刷費	146,846	200,000	53,154	感想文賞状・盾，総会資料
	交通費	18,120	50,000	31,880	全国ＳＬＡ総会
	資料保管料	10,000	10,000	0	資料保管料
	消耗品費	6,942	10,000	3,058	
	雑費	24,303	25,000	697	
	予備費	275,000	954,370	679,370	周年積立10万，ライブラリスコア，東海大会，50周年事業
	小計	1,026,315	1,802,670	776,355	
総計		2,606,106	3,452,670	846,564	

※　項目間の流用を認める。

※　県大会の残金は県SLA会計に繰り入れる。

愛知県学校図書館研究会会則

制　　定　昭和38年５月25日
一部改正　昭和58年５月25日
一部改正　平成10年６月５日
一部改正　平成14年５月31日
一部改正　平成19年５月29日

第１章　総　　則

（名　　称）
第１条　この会は愛知県学校図書館研究会と称する。
（事 務 局）
第２条　この会の事務局は原則として会長在任校に置く。
（目　　的）
第３条　この会は学校図書館の健全な発達を図り，もって学校教育を充実することを目的とする。

第２章　事　　業

（事　　業）
第４条　この会の目的を達成するため，次の事業を行う。
⑴　学校図書館振興に関する各種の企画及び協力
⑵　学校図書館の管理と運営に関する研究
⑶　資料の収集，整理に関する研究
⑷　学校図書館並びに資料の利用に関する研究
⑸　研究大会，研究会，実務講習会，研修会等の開催
⑹　研究物，機関誌等の刊行
⑺　その他，この会の目的を達成するために必要な事業

第３章　会　　員

（会　　員）
第５条　この会の会員は，公立の小・中学校（名古屋市立を除く）及び公立・私立の高等学校並びに特別支援学校をもって会員とする。

第４章　役職員および組織

（役　　員）
第６条　この会に役員及び理事・評議員をおく。

⑴	会　　長	１　名
⑵	副 会 長	若干名
⑶	監　　事	２　名
⑷	部　　長（研究・紀要・読感）	３　名
⑸	事務局長	１　名
⑹	理　　事	若干名
⑺	評 議 員	若干名

（役員の選出）
第７条　この会の役員及び理事・評議員の選出は，次の方法による。
⑴　評議員は，小・中学校においては各郡市ごとに，高校においてはブロックごとに選出する。
⑵　会長・副会長は，所属会員中から評議員会において選出する。
⑶　理事・監事は，評議員の互選によって選出する。
⑷　事務局長は，会長が委嘱する。
（会　　長）
第８条　会長はこの会を代表し，会務を総理する。
（副 会 長）
第９条　副会長は会長を補佐し，会長事故ある場合に会務を代行する。
（監　　事）
第10条　監事は会計を監査する。
（役員の任期）
第11条　この会の役員の任期は１か年とする。但し再任を妨げない。

2　役員は任期満了後も，後任者の就任するまでは，その職務を行う。
3　補欠役員の任期は，前任者の残任期間とする。
（事務局職員）
第 12 条　事務局長及び会長が委嘱した事務職員は，この会の実務並びに会計を処理する。
（顧　問）
第 13 条　この会に顧問をおくことができる。
2　顧問は，本会に対する功労顕著なる者，及び学識経験のある者を，理事会の承認を得て会長がこれを委嘱する。
（部　会）
第 14 条　この会の目的達成のため，必要に応じて，学校種別その他の部会をおくことができる。
2　部会および支部の設置は，総会の承認を必要とする。
3　部会および支部の運営等については，そのつど会長に報告する。

第 5 章　会　議

（会　議）
第 15 条　この会に次の会議を設ける。
⑴　総　会
⑵　評議員会
⑶　理 事 会
⑷　役 員 会
⑸　研究部会
（総　会）
第 16 条　総会は全会員の三分の二以上の出席をもって，毎年 1 回，開催する。但し，評議員会をもってこれに代えることができる。
2　総会のなすべき事項は，次の通りとする。
⑴　会務の報告
⑵　会則の変更
⑶　事業計画並びに予算の審議及び決算の承認
⑷　役員の選出
（評 議 員 会）
第 17 条　評議員会は，評議員の三分の二以上の出席をもって，毎年 1 回以上開く。
（理　事　会）
第 18 条　理事会は，必要あるごとに，理事の三分の二以上の出席をもって開く。
2　理事会においてなすべき事項は，次の通りとする。
⑴　評議員会の決議によって委任された事項
⑵　会務執行上の諸事項
⑶　緊急を要する事項
（役　員　会）
第 19 条　役員会は，必要あるごとに開き，会務運営上の諸事業を協議する。

第 6 章　会　計

（経　費）
第 20 条　この会の経費は，会費，助成金，寄付金，その他をもってこれにあてる。
第 21 条　この会の会計年度は，毎年 4 月 1 日に始まり，翌年 3 月31日に終わる。

第 7 章　補　則

（会則の変更）
第 22 条　会則の変更は，総会において出席者の三分の二以上の賛成がなければならない。
（細　則）
第 23 条　この会の運営に必要な細則は理事会で別に定める。
（効力の発生）
第 24 条　この会則は，総会において承認された日から，その効力を発生する。

細　　則

1　評議員の数は，ほぼ次の通りとする。

高等学校			小・中学校	
地区	校長	教頭・教諭	校長	教頭・教諭
名古屋	1	1	各郡市 1	各郡市 1
尾張	2	2		
東三河	1	1		
西三河	1	1		
名古屋市立	1	1		
私立	1	1		
小計	7	7	45	45
合計	104名			

2　理事の数は，ほぼ次の通りとする。

高等学校			小・中学校	
地区	校長	教諭	校長	教頭・教諭
県立	4	1	尾張　6	尾張　4
市立	1	1	三河　5	三河　5
私立	1	1		
小計	6	3	11	9
合計	29名			

3　監事は，会長以外のブロックから各１名を選出する。

4　会費は，下記の通り徴収する。

高等学校	特別支援学校	小・中学校	
		7学級以上	6学級以下
2,900円	1,210円	1,490円	1,210円

5　本会は，全国学校図書館協議会に対し，下記の基準により，会費を一括納入する。

基準　　１校につき50円

愛知県学校図書館研究大会のあゆみ

第１回　1963（昭和38）　豊橋・青陵中，豊田・高岡中，半田・亀崎小，愛知商
「教育課程の展開と学校図書館」
第２回　1964（昭和39）　渥美・田原中，岡崎・愛宕小，海部・大治小，明和高
「教育課程の展開と学校図書館」
第３回　1965（昭和40）11・13　豊田市立豊南中
「人間形成に役立つ学校図書館」
第４回　1966（昭和41）11・18　小牧市立小牧中
「人間形成をめざす学校図書館」
第５回　1967（昭和42）11・25　蒲郡市立蒲郡南部小
「学習活動の中で生きてはたらく学校図書館」
1968（昭和43）10・31～11・２　名古屋市公会堂　他４会場
※　第16回全国学校図書館研究大会名古屋大会
第６回　1969（昭和44）10・29　中島郡祖父江町立領内小
「学習活動に結びついた学校図書館の運営と利用」
第７回　1970（昭和45）11・10　安城市立安城南中
「学習に結びついた学校図書館の運営と利用」
第８回　1971（昭和46）10・27　常滑市市民体育館
「教育の現代化にこたえうる学校図書館のあり方」
第９回　1972（昭和47）10・25　江南市立古知野南小
「情報化社会の人間形成をめざす学校図書館のあり方」
第10回　1973（昭和48）８・22～23　豊田市立挙母小
「情報社会の中で生涯教育の理念にたつ主体的な学習活動を支える学校図書館のあり方を問い直そう」
※　第16回東海地区学校図書館研究大会
第11回　1974（昭和49）10・30　県立刈谷東高
「学校教育の現代的課題にこたえうる学校図書館のあり方」
第12回　1975（昭和50）10・20　一宮市立神山小
「主体的・創造的な人間形成をめざす学校図書館のあり方」
第13回　1976（昭和51）10・26　豊川市立西部中
「みずから学ぶ力を養い，豊かな心を育てる学校図書館のあり方」
第14回　1977（昭和52）11・８　名古屋市中区役所ホール・名古屋市立中央高
「ゆとりある学校生活に生かされる学校図書館のあり方」
第15回　1978（昭和53）10・19　東海市立大田小
「ゆとりある学校生活に生かされる学校図書館のあり方」
第16回　1979（昭和54）10・16　刈谷市立小高原小
「ゆとりと充実のある学校生活を志向する学校図書館のあり方」
第17回　1980（昭和55）10・24　金城学院高
「心ゆたかな教育に生かされる学校図書館のあり方」
第18回　1981（昭和56）10・22　津島市立南小
「人間性豊かな児童，生徒の育成と学校図書館」
第19回　1982（昭和57）10・26　豊橋市立二川小
「みずから学ぶ力を養い，豊かな人間性を育てる学校図書館のあり方」
第20回　1983（昭和58）８・19～20　尾張旭市立旭小，旭中，県立旭野高，尾張旭市文化会館
「児童・生徒の豊かな人間性の育成に資する学校図書館活動を考えよう」
※　第21回東海地区学校図書館研究大会
第21回　1984（昭和59）10・15　瀬戸市立南山中
「みずから学ぶ意欲と豊かな人間性を育てる図書館をつくろう」
第22回　1985（昭和60）10・22　岡崎市立連尺小
「生涯教育の基礎と豊かな人間性を育てる学校図書館のあり方」
第23回　1986（昭和61）10・31　金城学院高
「教育の改革にこたえうる学校図書館を考えよう」
第24回　1987（昭和62）11・６　犬山市立城東中
「みずから学ぶ力と豊かな人間性を育成する学校図書館のあり方」
第25回　1988（昭和63）10・28　蒲郡市立三谷小
「みずから学ぶ力と豊かな人間性を育てる学校図書館のあり方」
第26回　1989（平成元）10・27　愛知県中小企業センター
「教育の改革にこたえうる学校図書館の充実を考えよう」
第27回　1990（平成２）10・22　平和町立六輪小
「みずから学ぶ力と豊かな人間性を育成する学校図書館のあり方」

第28回　1991（平成３）10・25　安城市立新田小
「自ら学ぶ意欲と豊かな心を育てる学校図書館」
第29回　1992（平成４）10・30　金城学院高
「みずから学ぶ力と国際感覚を育てる学校図書館」
第30回　1993（平成５）８・24～25　半田福祉文化会館，半田勤労福祉会館，住吉福祉文化会館
「自ら学ぶ意欲と豊かな心を育てる学校図書館のあり方を求めて」
※　第26回東海地区学校図書館研究大会
第31回　1994（平成６）11・11　豊川市文化会館・豊川市勤労福祉会館
「自ら学ぶ意欲と豊かな心を育む学校図書館」
第32回　1995（平成７）10・27　愛知県中小企業センター
「自ら学ぶ意欲を育て情報化社会に対応する学校図書館」
第33回　1996（平成８）10・25　一宮勤労福祉会館・一宮市温水プール
「豊かな心と社会の変化に主体的に対応できる力を育む学校図書館」
第34回　1997（平成９）10・24　西尾市文化会館，西尾市青年の家，西尾市働く婦人の家，西尾小学校
「心豊かで，自ら調べる子どもを育てる学校図書館」
第35回　1998（平成10）10・30　愛知県中小企業センター
「豊かな人間性を育み，情報化社会に応える学校図書館」
第36回　1999（平成11）10・26　佐屋町中央公民館他
「豊かな感性をはぐくみ，生きる力を培う学校図書館」
第37回　2000（平成12）10・27　ライフポートとよはし
「新しい教育の中核を担う学校図書館」
第38回　2001（平成13）10・30　ウィルあいち
「21世紀を開く学校図書館」
第39回　2002（平成14）10・29　師勝町民総合体育館，師勝町図書館，師勝町役場，師勝中学校
「新しい時代の新しい学校図書館」
※読書感想文集『天空』を創刊する。
第40回　2003（平成15）８・７～８　豊田市民文化会館，愛知工業大学10号館
「新しい時代を拓く学校図書館の創造」
※第31回東海地区図書館研究大会
第41回　2004（平成16）10・27　ウィルあいち
「考える力を育む学校図書館」
第42回　2005（平成17）11・２　ウィルあいち
「ひらく，つながる，学びを支える学校図書館」
第43回　2006（平成18）10・27　蒲郡市民会館
「人間性の基をつくる学校図書館の新たな出発」
第44回　2007（平成19）11・７　稲沢市民会館
「未来を拓く創造力・想像力を培う学校図書館」
第45回　2008（平成20）11・４　稲沢市民会館
「子どもの可能性を拓く学校図書館の創造」
第46回　2009（平成21）10・30　刈谷市民会館
「感性を高め学びの世界を広げる学校図書館」
第47回　2010（平成22）10・27　ウィルあいち
「考える・感じる・表す力を育む本との出会い」
第48回　2011（平成23）10・28　一宮市尾西市民会館
「学びをひろげる　豊かな心をはぐくむ　学校図書館」
第49回　2012（平成24）10・26　豊川市文化会館・豊川市勤労福祉会館
「学びをひらき　豊かな心をつちかう　学校図書館」
第50回　2013（平成25）８・７～８　穂の国とよはし芸術劇場・愛知大学
「人をつなぐ・夢をはぐくむ・ことばをつむぐ」
～子どもの学びをささえる学校図書館～
＊第36回東海地区学校図書館研究大会

編集後記

第50回愛知県学校図書館研究大会は，東海地区大会を兼ね，豊橋を舞台に盛大に開催することができました。記念講演での「学校図書館改造プロジェクト」に関するお話は，講師（井上一郎氏）の柔軟かつ真摯な人柄が溢れる，とても刺激的な内容でした。今後の学校図書館のあり方について，目指さなければならない「読書・学習センター機能の改善」に向けた確かな示唆をいただくものでした。また，各分科会においても「人をつなぐ・夢をはぐくむ・ことばをつむぐ」の研究主題のもと，多くの学校図書館関係者が集い，熱心に協議を深め，素晴らしい成果をあげることができました。

さて，県大会が50回目となることから，本研究会の創立も50周年を迎え，10月にはご貢献，ご功労の方々への敬意を表し厳粛に記念式典を執り行いました。そこで，研究紀要を「50周年記念号」として，ここに発行することとなり，その編集に際しては，40周年からの10年間における学校図書館教育の変遷，および読書感想文・感想画，読書ゆうびんの各種コンクールの歩みを実績ある記録として残すべく，委員の力を結集して取り組みました。巻頭へのご祝辞を賜りました皆様方におかれましては，その玉稿に対しまして，心より感謝申し上げます。

半世紀を歩んできた学校図書館教育は，今後も「読書・学習センター」機能に一層の磨きをかけていかなければなりません。そして，未来を生き抜く子どもたちのために，書物による「知層」が幾重にも積み重なる場と手立ての供給に向けて尽力していきたいと思います。

最後になりましたが，お忙しい中，本紀要の編集発行にご協力いただきました関係者の方々には，心よりお礼申し上げます。

紀要部長　木　村　芳　博

編集委員一覧

部　長	木　村　芳　博	（小　牧・小牧原小長）
副部長	仙　田　　桂	（江　南・古知野西小長）
部　員	阿　部　典　子	（県　立・江南高諭）
	渡　辺　まゆみ	（岩　倉・岩倉東小諭）
	福　嶋　淳　代	（小　牧・味岡小諭）
	冨　田　賢　史	（小　牧・小牧中諭）

学校図書館研究紀要No.55

2014(平成26)年２月25日　印刷
2014(平成26)年３月１日　発行

発行者　愛知県学校図書館研究会
印刷所　若葉印刷有限会社
〒462-0852
名古屋市北区猿投町26
TEL 052-991-5537
FAX 052-914-7933

地下鉄名城線志賀本通駅下車
３番出口より徒歩１分